

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名 ②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	基本施策名 ①就学前・学校教育	NO ①	施策の展開方向 学習環境の整備・充実
------------------	----------------------------	--------------------	---------	-----------------------

事業名	小学校維持管理事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	教育環境を整えるため適正な維持管理を図ることが必要となっている。
------------	----------------------------------

(事業概要等)	小学校児童の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、児童の安全確保に取り組む。 ・小学校の安全点検(浄化槽定期検査、簡易専用水道定期検査、揮発性有機化合物検査、エレベーター保守点検、消防設備保守点検、自家用工作物保安管理、貯水槽清掃、体育遊具保守点検、砂場殺菌洗浄、防火設備定期検査、フロン定期点検)
---------	---

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	128,168	128,423	197,755	158,564	
うち市負担分(千円)	124,732	125,244	194,408	156,045	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値

(指標を設定できない理由)	施設の適正な維持管理に係る事業である為、指標設定不可
---------------	----------------------------

(成果の概要)	
---------	--

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況の中、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く老朽化が深刻な課題となっている。限られた予算において可能な限り、安全面や機能面の改善を図ることや、地震等の災害発生時に避難場所となる体育館の機能の維持管理が課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において適正な維持管理が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための計画的な施設整備予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図り、引続き適正な維持管理を実施する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	小学校施設整備事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

学校の耐震化は、全て完了したが、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が深刻な状況となっており、安全面や機能面において改善を図ることが必要となっている。

(事業概要等)

小学校児童の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、児童の安全確保に取り組んでいる。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	12,021	353,926	443,864	681,111	
うち市負担分(千円)	12,021	23,762	31,460	542,079	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
小学校大規模改修率(25年)	%	66	66	63	66
小学校マンホールトイレの設置率	%	25	25	25	37

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

条南小学校の校舎長寿命化工事(3期中の2期目)を実施した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館耐震化(H17～H19) ・校舎の耐震化(H7～) ・体育館非構造部材の改修(H24～H28) ・校舎の長寿命化(H26～) ・体育館空調設備整備(R2～R3)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<p>厳しい財政状況の中、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く老朽化が深刻な課題となっている。限られた予算において可能な限り、安全面や機能面の改善を図ることや、地震等の災害発生時に避難場所となる体育館の機能の充実が課題である。</p>
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において改善を図る必要性がある。
	改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図っていく。また、避難所の充実として、校舎の増改築に併せてマンホールトイレを整備していたが、他の学校においても整備手法など調査・研究を進める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	情報環境整備事業	担当課名	教育政策課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

子どもと十分に向き合う時間を確保するため、教職員の業務負担を軽減することを目的とする。

(事業概要等)

- ・教職員が使用する校務用パソコンを配備する。
- ・ICT支援員を配置する。
- ・通信環境を整備する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	20,536	150,992	82,895	75,630	
うち市負担分(千円)	20,536	83,163	62,655	55,401	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
教職員への校務用パソコン普及率	%	78	95	96	96

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

GIGAスクール構想の実現に向け、前年度に整備した大容量通信ネットワークについて、使用できる教室を支援学級教室や特別教室にも拡充した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	校務支援システムを導入したことで、学校事務の効率化及び情報セキュリティが向上した。また、大容量通信ネットワークを整備した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	校務パソコンの更新が近づいており、不具合の出現が起きやすくなっている。
---------	-------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 教職員の業務負担の改善をするためには引き続き校務環境の改善が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	全教職員に校務用パソコンを配備できていないのでリース台数の拡充を検討するとともに、更新については計画的に実施する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	情報環境整備事業	担当課名	指導課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

教員のICT活用指導力を向上させ、情報モラルの育成に努めるとともにICT機器を積極的に活用した授業の展開を図ることを目的とする。また、各校のネットワーク環境の保守をはじめ、各小・中学校等の教育活動を積極的に対外に情報発信を行う。

(事業概要等)

ICTを活用した教育を実践するため、小・中学校の情報機器整備、校務ネットワーク通信環境の整備・保守のほか、GIGA系ネットワークの保守、児童生徒用端末へのセキュリティ対策を行う。また、教育現場が授業目的でインターネット上の著作権物を自由に活用できるための許諾利用の手続事務を行う。ホームページを使った情報発信については、教育支援センター及び各学校に整備し、各小・中学校の教育活動を保護者ならびに地域に対して積極的に情報発信できるようにする。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,195	6,875	15,222	23,150	
うち市負担分(千円)	7,115	6,875	10,834	20,510	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
授業で、コンピュータや提示装置を使用して資料などを効果的に活用できる教員の割合。(小学校)	%	59	76	89	90
授業で、コンピュータや提示装置を使用して資料などを効果的に活用できる教員の割合。(中学校)	%	58	73	85	90
各校ホームページの総アクセス数(年間集計)	件	302,627	549,667	610,858	600,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

各小・中学校において、インターネットやICTを活用した授業の基盤を整備し、教員がタブレットや大型提示装置等が効果的に活用されることで、児童生徒の主体的な学びが促進されている。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、休校等においてもオンライン授業が行えるようWebカメラの整備を進めた。また、学校ホームページの活用により、地域や他市町村等への発信が促進されている。(R3度目標値400,000)。学校図書館では、書誌情報を詳細に検索できることから、授業に必要な本や、児童・生徒の要望に合う本を素早く選び、公共図書館に準じる背ラベルを付けることができています。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に学校図書館の背ラベルを統一し、蔵書の分類・整理を行った。 令和3年度から児童生徒向けのタブレットにWebフィルタリングソフトの導入を図った。 令和4年度から、Webフィルタリングソフトに係る契約事務を移管する。(教育政策課より) 令和4年度から、授業目的公衆送信補償金制度に係る契約事務を移管する。(教育政策課より)
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	GIGAスクール構想の全国的な推進をはじめとした情報環境の整備は重要である。その中で、導入した機器やシステム等について、今後も定期的なバージョンアップや見直し・改善は必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 情報化に関する諸課題に対して適切な対応ができています。
	改革・改善策等の具体的内容	GIGAスクール構想の中で導入したタブレットの入れ替えが令和7年度にあたるため、入れ替えのスケジュールについて検討していく必要がある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	中学校維持管理事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が深刻な状況となっており、安全面や機能面において改善を図ることが必要となっている。

(事業概要等)

中学校生徒の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、生徒の安全確保に取り組んでいる。
・中学校の安全点検(簡易専用水道定期検査、揮発性有機化合物検査、エレベーター保守点検、消防設備保守点検、自家用工作物保安管理、貯水槽清掃、防火設備定期検査)

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	30,186	30,521	64,103	39,025	
うち市負担分(千円)	23,810	27,701	61,317	36,525	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値

(指標を設定できない理由)

施設の適正な維持管理に係る事業である為、指標設定不可

(成果の概要)

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況の中、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く老朽化が深刻な課題となっている。限られた予算において可能な限り、安全面や機能面の改善を図ることや、地震等の災害発生時に避難場所となる体育館の機能の充実が課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において改善を図る必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図っていく。また、避難所の充実として、校舎の増改築に併せてマンホールトイレを整備していたが、他の学校においても整備手法など調査・研究を進める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実
事業名	中学校施設整備事業		担当課名	教育政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が深刻な状況となっており、安全面や機能面において改善を図る。

(事業概要等)

中学校生徒の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、生徒の安全確保に取り組む。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	23,434	3,835	256,941	729,143	
うち市負担分(千円)	23,434	3,835	25,041	639,339	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
中学校大規模改修率(25年)	%	53	42	42	42
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
各中学校の故障した空調設備の取替工事を実施した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	・体育館耐震化(H17～H19) ・校舎の耐震化(H7～H23) ・体育館非構造部材の改修(H28) ・体育館空調設備整備(R3)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く老朽化が深刻な課題となっている。限られた予算において可能な限り、安全面や機能面の改善を図ることや、地震等の災害発生時に避難場所となる体育館の機能の充実が課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において改善を図る必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図っていく。また、避難所の充実として、小学校の校舎の増改築に併せてマンホールトイレを整備していたが、他の学校においても整備手法など調査・研究を進める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	通学路交通安全対策事業	担当課名	指導課
-----	-------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

児童生徒の通学路における交通安全を確保するとともに、保護者や児童生徒に学校環境における安全・安心感を与える。

(事業概要等)

通学路において交通安全上危険となる箇所に、公益社団法人シルバー人材センターへ委託して交通安全専従員を配置する。また、自治会やPTAなど地域が一体となり、児童の安全確保に努める。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,417	4,585	4,468	6,714	
うち市負担分(千円)	4,417	4,585	4,468	6,714	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
配置箇所における通学時の事故	件数	0	0	0	0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

ここ数年、通学路における交通安全上危険となる箇所に適正な人員配置ができたことにより、配置箇所における通学時の事故は生起していない。また市内全域では、児童生徒が関係する交通事故は起きているものの、大事には至っていないことから、児童の安全を一定確保できたものとする。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	警察、道路管理者、教育委員会事務局が通学路の合同安全点検を実施しており、協議を行う他部局事業とも連携しながら、学校における交通安全指導、SGLによる巡回強化や道路の区画線の見直しなどを協議している。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	・交通安全専従員の配置場所については、学校要望が多く上がっている現状を鑑みて、再考していく必要があると考えている。 ・シルバー人材センターへ委託する形ではあるが、安定した人材確保の必要性を双方が共有することが重要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 通学路における児童の交通安全の確保のためにも、本事業は必要である。
改革・改善策等の具体的内容	配置場所の再考を行う。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	小学校プール維持管理事業	担当課名	教育政策課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

教育の一環として水泳授業を安全に実施するため適正に維持管理を行う。

(事業概要等)

安全・快適で衛生的なプール施設の運用にあたって、学校環境衛生基準を満たす水質検査など各種の保守点検を実施する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,080	415	2,171	11,415	
うち市負担分(千円)	6,080	415	2,171	9,212	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
利用人数	人	3,839	0	0	3,506

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

コロナウイルス感染症対策のため、令和3年度は水泳授業未実施であった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	老朽化が進み、安全・快適で衛生的なプールを維持するためには施設更新が必要で、多額の事業費を要する。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の安全かつ良好な衛生面を維持することを最優先として継続する。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実
事業名	小学校プール施設整備事業	担当課名	教育政策課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

教育の一環として水泳授業を実施するための設備・環境を提供する。

(事業概要等)

安全・快適で衛生的なプール施設の運用にあたって、学校環境衛生基準を満たす水質検査など各種の保守点検を実施するとともに、施設・設備の営繕、修繕を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,019	3,276	2,920	31,097	
うち市負担分(千円)	2,019	3,276	2,920	1,597	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
利用人数	人	3,839	0	0	3,506
老朽化改修を行った小学校プール数	%	43	57	71	85
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
・旭小学校プールの塗装を行った。 ・施設の修繕を実施することにより、安全、安心なプール施設の確保が図られた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	施設及び設備の老朽化が進み、安全・快適で衛生的なプールを維持するためには施設更新が必要で、多額の事業費を要する。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の安全かつ良好な衛生面を維持することを最優先として継続する。
	改革・改善策等の具体的内容	安全・快適で衛生的なプール施設の運用が求められているが、各施設及び設備機器の老朽化が著しく、継続使用にあたっては施設及び設備の改修工事が必要であるため、年次的にプールの塗装などの改修を進めていく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	小学校教育振興事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

未来を担う児童に必要となる良質な教材を整備し、より良い教育環境を提供することを通じて児童の学力、心身の育成や社会性の向上を目的とする。

(事業概要等)

時代に応じた多様な学習活動に対応するため、市立小学校の各教科授業に必要な教材の整備等を行い、より良い教育環境の整備・充実を図る。

・教具教材の購入 等

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,989	5,381	2,000	5,391	
うち市負担分(千円)	5,117	4,668	1,137	4,251	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
児童一人あたり備品購入額	円	1,621	1,413	1,407	1,409
理科教育設備整備率 整備金額÷整備基準金額	%	71	65	67	69

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

授業を行う上で、より良い教育環境の整備により、児童の学力、心身の育成や社会性の向上に資するとともに、各学校において多様な学習活動に対応するための教材等の整備及び有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上に寄与している。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとで購入していた教具教材について、より効果的、効率的な予算執行とするため、年度当初の同時期に必要なものを、教育総務課において一括購入を行うこととした。 ・より一層学校ごとの特色を発揮できるものとするため、平成25年度から、各学校予算の要求時に、予算要求総額の上限を設定した上で、各学校の実情に応じた科目ごとの予算要求を行う仕組みを構築した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<p>厳しい財政状況から限られた事業予算を、充実した教育環境に向けた教材整備、児童の学力向上ひいては教育の質の向上に資するため、いかに効果的・効率的に執行するかが課題である。</p>
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	<p>(左記評価の理由)</p> <p>市立小学校の各教科授業を行う上で、より良い教育環境のための教材整備を継続し、多様な学習活動への対応や教材の有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上を図る必要がある。</p>
改革・改善策等の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な授業を進めるための予算の確保については、実情に応じた科目ごとの予算要求により対応していくとともに、総事業費を基本とする予算の確保を図っていく。 ・学校の特色のある取組みを支援する予算要求の仕組みは、引き続き実施していく。 	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	小学校教材整備事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

「学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業」などICT機器を活用した授業づくりを推進するため、小学校にICT環境の整備を行うことを目的とする。

(事業概要等)

ICT機器の整備等を行い、より良い教育環境の整備・充実を図る。
 ・様々な場所での使用を前提としたタブレットパソコンのリース
 ・一人一台端末、大型提示装置の整備

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	10,902	187,298	16,230	16,595	
うち市負担分(千円)	10,902	72,146	16,230	13,738	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
電子黒板機能付プロジェクタ教室設置率 設置教室数÷普通教室数	%	71	71	100	-
理科教育設備整備率 整備金額÷整備基準金額(再掲)	%	71	65	67	69

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

令和3年度に1・2年生の普通教室に、電子黒板機能付プロジェクタを設置したことで、全校全学年に整備が完了した。児童が楽しく学びながら理解が深まる、分かり易い授業の推進ができ、授業の理解度や学習意欲の向上に寄与している。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和2年度に一人一台端末を配備し、家庭に通信環境が整っていない場合にモバイルルーターの貸出しを行った。令和3年度に1・2年生の普通教室に、電子黒板機能付プロジェクタを設置した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	児童の状況に応じてきめ細かく授業を行うために少人数授業も実施されているが、その教室の環境づくりが必要である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ICT機器を活用した授業づくりを行うために、ICT環境の充実が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	より効果的な授業を進めるための環境づくりとして少人数授業にも対応できるよう、少人数教室へのネットワーク環境の充実やプロジェクターの導入などを検討する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	中学校教育振興事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

未来を担う生徒に必要となる良質な教材を整備し、より良い教育環境を提供することを通じて生徒の学力、心身の育成や社会性の向上を目的とする。

(事業概要等)

時代に応じた多様な学習活動に対応するため、市立中学校の各教科授業に必要な教材の整備等を行い、より良い教育環境の整備・充実を図る。

・教具教材の購入 等

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,870	2,807	1,203	2,454	
うち市負担分(千円)	2,396	2,355	766	2,004	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
生徒一人あたり備品購入額	円	1,334	1,273	1,090	1,168
理科教育設備整備率 整備金額÷整備基準金額	%	48	50	55	56

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

授業を行う上で、より良い教育環境の整備により、生徒の学力、心身の育成や社会性の向上に資するとともに、各学校において多様な学習活動に対応するための教材等の整備及び有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上に寄与している。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとで購入していた教具教材について、より効果的、効率的な予算執行とするため、年度当初の同時期に必要なものを、教育総務課において一括購入を行うこととした。 ・より一層学校ごとの特色を発揮できるものとするため、平成25年度から、各学校予算の要求時に、予算要求総額の上限を設定した上で、各学校の実情に応じた科目ごとの予算要求を行う仕組みを構築した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況から限られた事業予算を、充実した教育環境に向けた教材整備、生徒の学力向上については教育の質の向上に資するため、いかに効果的・効率的に執行するかが課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	<p>(左記評価の理由)</p> <p>市立中学校の各教科授業を行う上で、より良い教育環境のための教材整備を継続し、多様な学習活動への対応や教材の有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上を図る必要がある。</p>
	改革・改善策等の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な授業を進めるための予算の確保については、実情に応じた科目ごとの予算要求により対応していくとともに、総事業費を基本とする予算の確保を図っていく。 ・学校の特色のある取組みを支援する予算要求の仕組みは、引き続き実施していく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	中学校教材整備事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

「学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業」などICT機器を活用した授業づくりを推進するため、中学校にICT環境の整備を行うことを目的とする。

(事業概要等)

ICT機器の整備等を行い、より良い教育環境の整備・充実を図る。
 ・様々な場所での使用を前提としたタブレットパソコンのリース
 ・一人一台端末、大型提示装置の整備

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,635	97,584	3,862	3,805	
うち市負担分(千円)	4,635	37,016	3,862	2,073	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
プロジェクタ教室設置率・設置教室数÷普通教室数	%	100	100	100	100
理科教育設備整備率 整備金額÷整備基準金額(再掲)	%	48	50	55	56

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

一人一台端末(タブレット)を全生徒に配備するとともに、家庭に通信環境が整っていない場合にモバイルルーターの貸出しを行った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成28年度において、従来パソコン教室へデスクトップパソコンをリース配置していたものを、リース契約満了時期にあわせて、楽しく学び続けられる環境づくりを推進するため、タブレットパソコンのリースへ方針転換した。また、平成29年度で全校の全普通教室にプロジェクタの設置が完了した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	ICT機器を活用した授業づくりを行うために、タブレットパソコンをより使いやすい環境を整備する必要がある。そのため、インターネットの活用を進めるためのネットワーク環境の充実を図る必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ICT機器を活用した授業づくりを行うために、ICT環境の充実が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	より効果的な授業を進めるための環境づくりとして、LAN設備などのネットワーク環境の充実を検討する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	児童発達支援センター整備事業	担当課名	資産活用課
-----	----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	廃園となった戒保育所を児童発達支援センターとして利活用を図る。
(事業概要等)	令和3年度に改修工事の設計、令和4年度に改修工事を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	3,435	82,902	
うち市負担分(千円)	0	0	3,435	82,902	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値

(指標を設定できない理由)

児童発達支援センター整備事業について、戒保育所を児童発達支援センターとして活用できるよう、改修を図る事業であり、数値化するのは困難であるため。

(成果の概要)

--

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 令和5年4月1日の開設に向けて改修工事が必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	② ③	就学前教育の充実 学校教育の充実

事業名	英語指導助手派遣事業	担当課名	指導課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
小・中学校におけるALTとの授業及び交流を通して、英語を使ったコミュニケーション能力の向上、国際理解教育の推進を目的とする。また、外国語活動・外国語科以外の教科等の授業も、ALTと担任とが連携した英語による指導(イマージョン教育)を行うことにより、英語への関心を高め、聞く力、話す力の増進・向上を図るとともに、国際感覚を養うことをめざす。
(事業概要等)
外国人英語指導助手(ALT)を各小・中学校に配置し、外国語活動や外国語の授業において担任等と連携しながら、英語での挨拶や身近な会話など積極的なコミュニケーションの場面を設けるなど、子どもの発達段階に応じた外国語活動の支援を行う。また、教職員に対する研修を行うなど、教員の外国語指導に係る資質向上に努める。 外国語活動・外国語科以外の教科等の授業も、ALTと担任とが連携した英語による指導(イマージョン教育)を行うことで、英語の使用場面の増加、目的意識と達成感のさらなる向上、英語の発話の抵抗感緩和を図り、英語への関心、聞く力・話す力の向上をめざす。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,886	8,846	8,655	15,827	
うち市負担分(千円)	8,886	8,846	8,655	10,625	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
ALTのスキルに関するアンケートの肯定的回答	校	9	11	11	11
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
児童・生徒は外国人英語指導助手との時間を楽しんで活動しており、国際感覚やコミュニケーション能力の基礎が段階的に育まれている。特に小学校5・6年生での英語を使ったコミュニケーション活動の展開に加え、中学校1・2年生でコミュニケーションの場面をより積極的に設けることで、英語を使って会話する機会が多くなり、英語活用力の基礎が身につけてきている。また、中学校においては、授業内におけるプレゼンテーション等のパフォーマンス活動に対する評価者の一端を担うなど、英語担当教員の授業補助という観点からも大変有効であった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和4年度から、モデル校においてイマージョン教育を導入した。
--------	--------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	令和2年度からの5・6年生の外国語科の教科化ならびに3・4年の外国語活動が本格実施された。義務教育7年間における外国語指導に際し、児童・生徒の外国語能力、特に英語を使って思いを伝える力をいかに系統立てて育成していくのが強く求められている。各学年での指導内容に精通し、授業での役割を正しく認識できる良質のALTの確保が必須と考えられる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 年度途中のALTの変更がなく、継続的な指導が安定してできていることで、授業の質的向上と現場教職員との連携が円滑になっている。
	改革・改善策等の具体的内容	・ネイティブやより経験豊富なALTを派遣するなど、授業の質的向上を図る。 ・発達段階のニーズに沿う形でALTの希望を挙げていく。 ・学校現場での指導経験が豊富なALTを確保するために、早期のプロポーサルが必要だと考える。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	②④	就学前教育の充実 つながりのある教育体制の充実

事業名	教職員研修事業	担当課名	指導課
-----	---------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

学校教育において、全ての教職員が教育に携わる公務員として市民の信頼に応えられるよう、社会の変化に対応するための知識・技能や国際社会で必要とされる資質・能力等の向上を図るための職員研修を充実させる。

(事業概要等)

教職員が教育に携わる公務員としての責務を自覚し、児童・生徒に敬愛される豊かな人間性を培うとともに自らの資質向上を図ることができるよう、学力向上・生徒指導・特別支援教育・人権教育・道徳教育・情報教育・体罰防止等の服務に関する研修を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	89	105	15	1,168	
うち市負担分(千円)	89	105	15	1,168	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
一般 教職員研修	回	70	75	80	85
管理職研修	回	5	1	3	12

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

市教委主催による研修会で、学校運営(特に人材育成、人権教育、保護者・地域との連携、不祥事根絶等)の改善・充実や、授業づくり等の推進、職員集団のリーダーとしてのあり方について指導・助言を行うことにより、不祥事の防止、地域との連携、ミドルリーダーの育成等の一定の成果が得られている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	内容の精選を常に行い、学校現場における課題に焦点をあてた研修を実施した。
--------	--------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	教育課題の解決に向けて教職員の知識と理解を深めるためには、常にタイムリーなテーマ設定が求められる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後も学校運営・学力向上・授業改善等の様々な課題に対して、研修を実施し、教職員の資質向上に努める必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	きめ細やかな学級運営支援事業	担当課名	指導課
-----	----------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

指導方法の工夫改善の一層の充実を図り、学校・学年の状況に応じた指導・支援を推進することにより、きめ細かな学級運営を図る。

(事業概要等)

学級担任と連携をとりながら、チームティーチングや少人数分割指導などを行ってきた従来の各小学校1名の市費非常勤講師に加えて、小学4年生及び5年生の1学級あたりの人数(支援学級在籍児童が通常学級在籍の児童と交流学級として授業や活動をともに行う際に、1教室内で同時に活動する人数)が40名以上になるクラスが出てくる学年に対して1名の市費非常勤講師を追加配置し、きめ細かな学級運営を行っていくための支援を行う。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	10,881	11,180	18,849	19,004	
うち市負担分(千円)	10,881	11,180	11,114	11,229	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
児童の授業理解度(泉大津市学力向上に関する質問「本や資料を読んで、自分の考えを話したり、書いたりすることはできますか。」に対する肯定的回答)	%	78	/	76	80
児童の授業理解度の全国平均との差【国語】	点	-1	/	-2	0
児童の授業理解度(泉大津市学力向上に関する質問「公式やきまりを習うとき、そのわけを理解しようとしていますか。」に対する肯定的回答)	%	88	/	88	90
児童の授業理解度の全国平均との差【算数】	点	1	/	-2	0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

市費講師による少人数指導により、個に応じたきめ細かな指導を行える機会を増やしてきた。今後は、きめ細かな学級運営支援事業として、学校の状況に応じた対応も可能となるなど、さらなる支援の拡大が期待できる。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市費講師を配置することで、学校の実態に応じた少人数指導の充実が図られている。
改革・改善策等の具体的内容	配置された学年の現状に即した効果的な活用が期待できる。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	介助員配置事業	担当課名	指導課
-----	---------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

障がいをもつ児童・生徒に対して、その子どもの障がいの状況に応じて介助員・特別支援員を配置することにより、学校教育活動を円滑に行えるよう支援する。

(事業概要等)

重度の障がいをもつ児童生徒に介助員を、特別の配慮が必要な複数の児童生徒に特別支援員を配置し、学校生活における基本的な生活補助ならびに支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	73,697	73,206	76,572	84,416	
うち市負担分(千円)	73,697	73,206	76,572	84,416	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
介助員(1対1)配置人数	人	25	26	20	20
介助員(1対1)を必要としている児童生徒数	人	25	26	20	20
特別支援員(1対2、3)配置人数	人	16	16	21	22
特別支援員(1対2、3)を必要としている児童生徒数	人	34	37	48	58

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

介助員や特別支援員を配置したことで、その障がいに応じた適切な個別配慮のもとで、児童生徒が学校生活を円滑に送るための生活援助や支援を提供できている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	介助員・特別支援員の資格要件の改善
--------	-------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	介助員ならびに特別支援員によるきめ細かい支援を必要とする児童生徒の数が増えている現状がある。また、医療的ケア児支援法が施行され、医療的ケアの必要な児童が地域の学校に安心して入学できるための環境整備が必要となってきた。今後も現状を把握しながら、人的配置や合理的配慮に基づく学習環境の提供を行っていく必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 障がいの種別に応じた現在できる範囲における合理的な支援を行うことができているが、介助員・特別支援員の雇用について、年度当初に欠員がでている状況であった。
	改革・改善策等の具体的内容	介助員・特別支援員の資格要件を見直し、資格を必然とするのではなく、児童生徒に寄り添ったり、生活背景を鑑みたりするスキル・意欲等を重視した人物重視で、採用を行っていく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	学校支援社会人等指導者活用事業	担当課名	指導課
-----	-----------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

学校教育において、優れた知識や技術を有する多用な地域人材等を活用することで、生徒の興味関心を向上させる。

(事業概要等)

中学校における部活動において、専門種目外をはじめ、経験が少ない教員が顧問を行っている現状がある。当該部活動に対する補助として、地域の技術指導者を外部指導者として派遣し、部活動指導の質的向上を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,795	1,807	980	932	
うち市負担分(千円)	1,195	1,807	980	932	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
技術指導者を活用している部活数	数	7	6	6	6

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

学校教育活動のなかに、専門性を有する外部人材を活用し、教員とともに指導にあたることにより、児童生徒の活動意欲の向上、部活動での効果が見られている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> 専門性を有する指導者の不足や指導者と学校園との日程調整が課題。 働き方改革の中で、部活動の外部指導について顧問と同程度の責任と権限のもと、指導にあたることのできる部活動指導員(非常勤講師)の導入に向けて本格的な検討に入る必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 今後の教育活動を進めていく上でも、必要な取組みであると考えますが、部活動指導員も含めた新たな部活動支援体制の検討を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	今後、人材バンクの拡大(特に部活動指導については、スポーツ青少年課との連携)や、教育課程に沿った支援内容の充実を図ることによって、教職員の働き方改革につながる支援の実現をめざす。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	学校事務共同実施推進事業(学校事務共同化事業)	担当課名	指導課
-----	-------------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
教職員の事務作業は質量ともに増大し、本来、教職員が児童・生徒に向かい合うべき時間の確保が困難な状況である。教職員の事務の軽減を図るために、事務の集約化・効率化・適正化を図る。

(事業概要等)
平成26年度から3年間、事務処理方法の統一化・共同化を推進するにあたり学校事務共同化推進事業の拠点となる事務共同センターを誠風中学校内に設置。月2回を基本に各中学校の事務職員が集まり、協議、研修を重ねながら事務職員のスキルアップを図るとともに、府費・市費等の事務処理などの共同化・効率化を順次実施している。また、中学校間の横関係の連携から中学校区の縦関係への学校事務共同化の小中連携を推進するため、平成28年度から小津中学校区事務支援センターを、平成29年度から東陽中学校区事務支援センターを、令和3年度から誠風中学校区事務支援センターを設置した。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	13	14	13	14	
うち市負担分(千円)	13	13	13	14	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
「小津中学校区事務支援センター NEWS」の発行	回数	0	1	0	1
「東陽中学校区事務支援センター NEWS」の発行	回数	2	1	2	2
「誠風中学校区事務支援センター NEWS」の発行	回数			1	2
学校徴収金口座振替一括事務	校区	1	2	2	3

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
クラブ・市費物品の共同購入の実施及び各種様式の統一による経費の削減・簡素化、備品台帳のデータ化や学校徴収金取扱い要領及びマニュアル等の作成を行った。校長会の学校徴収金未納対策会議に参画し、学校運営の課題解決の貢献等により、教員の事務負担の軽減につながった。また、平成30年度に小津中学校区で小学校入学の際に中学校卒業まで利用できる制度がスタートし、令和2年度、東陽中学校区で、令和4年度に誠風中学校区と進め、全校区でのスタートとなった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和3年度に誠風中学校区事務支援センターを設置。教職員の事務の軽減を図るために、事務の集約化・効率化・適正化を行っていくとともに、学校徴収金口座振替一括事務が、令和4年度から実施となった。また、3中学校の区事務支援センターにおいて、共通の事務である給与及び3手当認定事務等において、共通の課題においては、共通認識を図ることができた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	・事務職員の力量を向上させる必要がある。 ・小中学校間の事務職員の進め方及び役割の統一は課題がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 3中学校区において学校事務共同化事業による事務処理などの共同化・効率化の推進が進み、府費・市費・物品購入等の処理を事務職員が行うことが可能になるため、教職員の業務の軽減が図られつつある。
	改革・改善策等の具体的な内容	・研修等により経験年数が浅い事務職員のスキルを向上させる。 ・中学校区事務支援センター会議で、小中学校間の事務職員の進め方についての課題の抽出を行い、具体的な改善策を検討し、課題の解決を図っていく必要がある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実 各分野との交流・連携の充実

事業名	教育委員会運営事業(教育委員会表彰)	担当課名	教育政策課
-----	--------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

本市の教育の振興・発展に優れた実績を収めた者や、文化・芸術活動やスポーツにおいて優秀な成績を収めた者に対して表彰を行い、教育や文化に対する関心を喚起し、本市の教育と文化の向上・発展に寄与すること。

(事業概要等)

各種大会やコンクールなどで優秀な成績を上げた個人、団体について、学校や社会教育団体などからの推薦を受け、または広報紙やホームページを通じて公募を行い、教育委員会において審査し、受賞者(個人及び団体)を決定する。その後、家族や来賓など各関係者立会いのもと教育委員会表彰式を挙行し、表彰を行う。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	56	0	49	60	
うち市負担分(千円)	56	0	49	60	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
受賞者数(個人)	人	20	9	23	24
受賞団体数	団体	4	1	1	2
来場者数(一般来場者)	人	—	—	—	—

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

新型コロナウイルス感染症対策に伴い、表彰式が開催できなかったが、多くの個人や団体に対して表彰を行うことができた。また、1度表彰を受けた方が、さらに成績を伸ばし、再度の表彰に至っている点からも、教育活動、文化活動及び体育活動に対するモチベーションを高めることができ、今後のより活発な活動への一助となった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	表彰式の開催にあたっては、生徒・児童の保護者が来場しやすい土曜日の開催とし、多くの来場者を収容できる会場で行った。また、毎年同じ団体、個人が表彰されることが多いことから、前回の成績を上回った場合のみ再度の表彰を行うよう教育委員会表彰規程の一部を改正した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	受賞者は体育関係が多く、文化・芸術部門の推薦が少ないといった傾向がある。
---------	--------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 表彰式を土曜日開催とし、多くの来場者を収容できる会場とするなど、多くの人が来場しやすい環境づくりを行ってきたが、より、受賞者を発掘できる手法を検討する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	募集については市のホームページや広報紙等で広く行うことを継続し、インターネットやSNSの有効な活用について研究する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	3	学校教育の充実
事業名	教育実習受入事業(こども育成課)	担当課名	こども育成課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津市立の幼稚園において、幼稚園教諭免許の取得を目的とする実習生を受け入れる場合に、当該実習生の所属する大学等から支払われる謝礼金の取り扱いに関し、必要な事項を定めることにより、実習の適切かつ円滑な指導運営に資することを目的とする。

(事業概要等)

幼稚園等において、幼稚園教諭免許の取得を目的とする実習生を受け入れ、将来教職に就くための資質の向上を図るための指導を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	180	180	210	300	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
幼稚園実習生	人	10	16	16	20
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
適切な実習の受け入れを行うことができ、幼稚園教諭免許試験の合格に繋がっている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	実習の受け入れにかかる謝礼金の取り扱いを平成27年度よりこども未来課に一本化、平成30年度よりこども育成課に移管した。また、大学等への連絡を事前に行うことで謝礼金の納金を円滑に行うことができている。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 幼稚園教諭免許の取得を目的とする実習生を受け入れ、次世代の教諭を育成すること、および教諭としての資質を見極めるため、幼稚園等における実習は必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	教育実習受入事業(指導課)	担当課名	指導課
-----	---------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津市立の小学校、中学校において、教員免許の取得を目的とする教育実習生を受け入れる場合に、当該教育実習生の所属する大学等から支払われる謝礼金の取り扱いに関し、必要な事項を定めることにより、教育実習の適切かつ円滑な指導運営に資する。

(事業概要等)

小・中学校において、教員免許の取得を目的とする教育実習生を受け入れ、将来教職に就くための資質の向上を図るための指導を行う。大学等からの謝礼金については、実習後に受け入れ校に対する消耗品支給として還元を行う。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	612	430	465	700	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
小学校・中学校において指導を行った教育実習生の人数	人	38	31	28	35

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

円滑かつ適切な教育実習の受け入れを行うことができている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	大学からの「承諾願」についても受け入れ校の内諾があれば省略してもよいとするなど、事務の簡略化も行った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	これまでは母校における教育実習が主流だったのに対し、近年は母校外の学校における教育実習を課す大学も増加傾向にある。母校外実習等、調整が必要となる場合において、大学側の要望と受け入れ校との条件におけるマッチングを行う必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 教員免許の取得を目的とする教育実習生を受け入れ、次世代の教員を育成するためにも、小・中学校における実習は必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	教育相談事業	担当課名	指導課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

子育てやしつけ、不登校、子どもの成長や発達のこと、いじめ等に関して専門家による相談を行う。また、学校園所に対して、専門家による巡回相談や機能回復訓練等を実施し、子どもの自立に向けた支援の手立てや在り方などについての教育相談に対応する。

(事業概要等)

子育てやしつけ、不登校、子どもの成長や発達について悩みを持つ保護者などを対象とし、教育支援センター専門相談員によるカウンセリングを実施する。また、学校園所に専門家を派遣し、支援の在り方などについて教職員に指導助言を行うとともに、学校に在籍している児童生徒を対象に身体機能の回復をめざした機能回復訓練を実施する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,254	6,194	5,863	7,472	
うち市負担分(千円)	7,254	6,194	5,863	7,472	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
教育相談回数	回	470	396	415	437
学校園への専門家派遣回数	回	242	179	270	270
機能回復訓練実施回数	回	64	0	65	65

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

子どもの成長や発達に悩みを持つ保護者・教職員等がリハビリテーションの専門家や、大学教授等学識、心理士による、児童生徒の見立てや支援の在り方における指導助言を受けることによって、家庭・学校においての適切な支援方法を学ぶことができた。また、学校園所で大学教授や心理士による巡回相談を実施することによって、幼児・児童・生徒への支援・指導方法を学び、今後の支援に大いに役立てることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	就学前相談件数の急増に伴い、学びの場を協議する場合と、通常の学級に在籍することを前提とした場合とに分けて、就学相談を予定することとした。その際、幼児の実態を詳細に把握できるよう、申し込み書の記載欄を工夫した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	発達に課題を持つ幼児・児童・生徒は年々増加し、特に学校からの教育相談のニーズは高まっている。特に心理士における巡回相談については、指導課専属の心理士が雇用できなかったため、学校が必要とする回数に対し、実施が十分ではなかった。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 子どもの成長と発達への悩みを持つ保護者が年々増加している。専門相談員によるカウンセリングや学校園への巡回相談ならびに機能回復訓練など、専門家による教職員への指導助言等のニーズの増加ならびに多様化の傾向から見ても本事業の必要性は増している。
	改革・改善策等の具体的内容	令和4年度は、指導課の専属心理士を雇用することができた。令和3年度よりも、巡回相談を行う必要性のある児童生徒に対する相談件数増加の要望に対応していきたい。また、心理士のスキルアップをめざし、ベテラン心理士によるスーパーバイズなど、OJTの取り組みも同時に実施していく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	子ども支援プロジェクト事業	担当課名	指導課
-----	---------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

不登校・いじめ等の未然防止・早期対応の取組み、不登校児童生徒への支援の推進を図る。

(事業概要等)

・いじめ問題対策連絡協議会を開催し、本市におけるいじめの現状を共有するとともに、専門家との連絡調整等を行う。
 ・いじめで悩んでいる児童生徒等がSOSを出すことのできる専用アプリを活用することで、学校ならびに教育委員会がいじめ事案を早期に発見し、早期対応ができる体制を整えるとともに、いじめを理由とした不登校の未然防止ならびに早期解決を図る。
 ・不登校対策支援員を教育支援センターの適応指導教室に配置し、来所する児童生徒の対応および支援にあたることを通して、当該児童生徒の学校復帰や進路選択を含めた社会との関わりの維持に努める。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,626	3,253	3,882	3,943	
うち市負担分(千円)	674	0	0	926	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
不登校出現率(小学校 泉大津市)	%	1	1	2	1
不登校出現率(中学校 泉大津市)	%	5	5	7	5
いじめ事案解消率	%	75	70	80	85

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

スクールソーシャルワーカーを拠点校配置することで、生じた課題に対して、福祉的な視点からのアプローチも可能となるなど、支援の充実が見られた。不登校対策支援員が配置されることで、適応指導教室に通う児童生徒の精神的な安定につながっている

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	全中学校区へのSSWを配置している。(令和3年度より)
--------	-----------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策支援員の人材確保は、個人対応や遠方からの受け入れもできる仕組みづくりを行っているが、依然として大きな課題である。 ・いじめ重大事態に対応するための第3者委員会設置に向けた条例設置ができたが、重大事態が生じたときの具体的な運用に向けての検討が必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 現在の学校が抱える諸課題への対応策として、SSWをはじめとした専門家との連携は不可欠である。
	改革・改善策等の具体的内容	令和3年度から市単費のSSWを3名配置できるようになった。今後は、SCとの連携、効果的な社会資源との接続など、内容の充実が求められる。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	支援教育事業	担当課名	指導課
-----	--------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
障がいをもつ児童生徒の可能性を最大限に伸ばして自己実現できるように支援し、自立と社会参加を一層促進する。
(事業概要等)
障がいをもつ児童生徒に、それぞれの障がいの種別に応じた合理的配慮を行うとともに、基礎的環境整備の充実を図るための教職員研修の実施や、就学にあたって就学相談を実施し、適切な就学先を助言するための就学支援委員会の開催を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,714	4,633	4,074	5,427	
うち市負担分(千円)	4,714	4,633	4,074	5,427	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
支援学級に在籍する児童生徒数	人	437	455	463	472
通級指導を受けている児童生徒数	人	179	230	248	263
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
障がいをもつ児童生徒の支援について、その障がいの種別に応じた合理的配慮を行うとともに、基礎的環境整備についても意識をもって取り組んでいる。保護者、教職員などに対して、支援教育に係る適切な啓発を行うべく、研修や、説明会等を実施したことで、特別の教育課程編成についての認識が広がってきた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	支援教育に関わる教職員の専門性を高めることをめざした研修の実施
--------	---------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特別の教育課程について、様々な機会を通じて啓発をしたことで、支援学級についての適切な認識は広がってきた。しかし、保護者間では、誤った認識もあり、複数件の問い合わせがあった。今後、さらに適切な認識を広められるよう、説明会の内容の工夫や対象、時期について工夫を行っていく。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がいの種別に応じた現在できる範囲における合理的な支援を行うことができていますが、今後も合理的配慮や基礎的環境整備の視点から支援の向上が求められる。
	改革・改善策等の具体的内容	個別の指導計画の通知票化をめざし、令和4年度については、2小学校1中学校をモデル校とし、個別の指導計画を学期末評価として保護者に配布する取り組みを行う。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	3	学校教育の充実

事業名	児童等健康管理事業(こども育成課)	担当課名	こども育成課
-----	-------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

幼稚園における園児及び教職員の健康の保持増進を図るための保健管理とともに、教育活動が安全な環境において実施され、園児等の安全確保を図るための安全管理に関する措置を講じ、教育の円滑な実施に資することを目的とする。

(事業概要等)

- ・園児・教職員の健康保持増進に関すること(学校医等の配置、各種健康診断の実施及び委託等)
- ・学校管理下における怪我、不測の事態に対する環境整備(AEDの設置、日本スポーツ振興センター等)

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,967	4,070	4,278	3,581	
うち市負担分(千円)	3,967	4,070	4,278	3,581	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値

(指標を設定できない理由)

健康の保持・保健管理のために実施そのものが法で定められた健康診断や園管理下で不測に発生した怪我等に対する備えが主な事業内容であり、数値での指標設定が困難である。

(成果の概要)

各種健(検)診の実施により、園児・教職員の健康保持増進を図ることができた。また、日本スポーツ振興センター等への加入などにより、特定の疾病や園管理下での怪我による受診に対し、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興センターの給付金について、支給事務の透明化と学校事務の負担軽減を図った。 ・予算措置にあたって、従前から学校給食事務に係る予算が含まれていたことから、経費区分の整理を行い、事業費の明確化を図った。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員対象の健(検)診について、より効果的な実施方法の検証 ・AEDのパッドやバッテリーの交換時期、AED本体の更新時期が園によって異なることから、効率的な管理方法の確立
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 法に定められた各種健(検)診を実施するとともに、幼稚園、健康福祉部、教育委員会、医師のより一層の連携により、園児・教職員の健康保持増進に取り組む。
	改革・改善策等の具体的内容	教職員対象の健(検)診について、実施日程の拡大など、授業など教育活動を踏まえ、より受診しやすい環境を整えられるよう検討する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	児童等健康管理事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

学校における児童・生徒及び教職員の健康の保持増進を図るための保健管理とともに、教育活動が安全な環境において実施され、児童・生徒等の安全確保を図るための安全管理に関する措置を講じ、学校教育の円滑な実施に資することを目的とする。

(事業概要等)

- ・児童・生徒・教職員の健康保持増進に関すること
- ・学校管理下における怪我、不測の事態に対する環境整備
- ・一定の要件を満たす児童・生徒等への特定疾病に対する医療費扶助

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	35,626	34,667	34,469	37,254	
うち市負担分(千円)	32,924	32,408	31,199	34,999	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値

(指標を設定できない理由)

実施そのものが法で定められた健康診断をはじめとする健康の維持管理や、学校管理下で不測に発生した怪我等に対する備えが主な事業内容であり、数値での指標設定が困難であるため。

(成果の概要)

各種健(検)診の実施により、児童・生徒・教職員の健康保持増進を図ることができた。学校・教育委員会・医師の連携による学校保健会については、コロナウイルス感染拡大防止の観点より活動が縮小された。また、日本スポーツ振興センター等への加入や医療費扶助等により、特定の疾病や学校管理下での怪我による受診に対し、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。今年度より生理の貧困問題に取り組み、市内小中学校のトイレに生理用品を設置し、困っている児童生徒に対し支援することができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	校務支援システムの導入に伴い、健康診断票のデータ化による児童生徒の健康管理の効率化及び一元管理ができるよう環境の整備を行った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	校務支援システムにおける児童・生徒の健康管理の効率化及び一元管理を行う中での不具合等の改善。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 法に定められた各種健(検)診を実施するとともに、学校・教育委員会・三師会のより一層の連携により、児童・生徒・教職員の健康保持増進に取り組む。
	改革・改善策等の具体的内容	児童・生徒の健康管理をより効果的に行うため、小・中学校に対して、校務支援システムの積極的な活用を促進する。また、教職員のメンタルヘルス対策としてストレスチェックを引き続き行うとともに、教職員を対象としたメンタルヘルス研修の実施に向けて、関係部局と協議する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	小学校給食事業	担当課名	教育政策課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

児童に安心・安全な学校給食を提供することにより、心身の健全な発達、食育を図ること等を目的とする。

(事業概要等)

- ・小学校給食調理業務委託(調理、配缶・配膳、洗浄消毒、施設等の整備、衛生管理)
- ・小学校給食実施のための環境整備(必要物品の購入・施設の修繕等)
- ・学校給食会の運営 ・公会計化に向けた環境整備

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	137,304	204,010	139,726	371,981	
うち市負担分(千円)	124,204	136,431	126,686	168,399	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
給食残渣率年間平均	%	4	5	6	4
給食の食材における大阪産物資の使用率	%	19	14	10	20

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

安心安全な給食を提供することはできたが、コロナウイルス感染症拡大の影響で、様々な制限下での給食実施となり、給食残量は前年度より増加した。また、物価の高騰により、大阪産物資の使用率も低下した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	より安心・安全な給食の提供を行うため、市独自で作成している衛生管理マニュアルの改訂を行った。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	教職員の働き方改革及び学校給食費の適正管理の観点から、小学校給食費の公会計化をR4から実施できるよう整備が必要である。また、食物アレルギーなどへのきめ細やかな給食対応や、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために必要な食育の推進が求められている。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 安心・安全な給食を今後も安定して提供し続けていくため、調理業務の委託継続により、学校給食の水準を維持するとともに、更なる衛生管理を進める。
	改革・改善策等の具体的内容	アレルギー対応においては、全校で安定した対応をとれるよう、アレルギー対応の手引きを適宜更新していく。また、小学校給食費の公会計化を機に、収納方法の拡充の検討、システムの改修等準備を進める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実
事業名	小学校教育振興事業(指導課)	担当課名	指導課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

大阪府の各教科の研究部会に参加し、教職員の教育技量を研鑽するとともに、教員の指導力向上を図る。

(事業概要等)

- ・大阪府研究協議会へ参加し、府下で行われた研修成果を市内小学校において共有する。
- ・泉大津市においても教科研究部会を全教科について実施する。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	661	378	453	721	
うち市負担分(千円)	661	378	453	721	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値

(指標を設定できない理由)

大阪府の主催する研修会であり、その成果指標を提示することはできない。

(成果の概要)

大阪府の主催する各研究部会に参加し、大阪府下の学校の取組みや教員の実践を共有することにより、児童生徒にその成果を還元することができた。コロナ禍の中、各研究部会負担金の負担額減少や、各種研修によっては、中止等になるなどの影響が見られた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 教職員の教育技量の向上を図るためにも、今後も継続的に大阪府の各教科の研究部会に参加する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	小学校教育振興事業	担当課名	指導課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

児童一人ひとりの個性と能力を尊重した心豊かな人間性を育むための、教育内容と教育方法の充実を図る。

(事業概要等)

- ・法令に基づく、小学校教科書採択に伴う教師用教科書、教師用指導書、児童・教師用副読本等の配布を行う。
- ・小学校の芸術鑑賞を委託し、児童の情操教育を行う。
- ・小学校における教員等の事務業務等の補助に従事するスクールサポートスタッフの配置を行う。
- ・学習支援アプリ(デジタルドリル教材)・授業支援アプリ(ロイノートスクール)・プログラミング教育に係る教材を導入して、タブレット端末1人1台配備における新しい学習環境の整備を行う。
- ・就学前施設および小学校の教職員が連携し、育ちと学びをつなぐ「幼保認小接続(いちご接続)」を推進する。

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,180	31,025	11,411	15,747	
うち市負担分(千円)	2,180	29,467	4,478	11,319	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
授業中にICTを活用して資料を効果的に提示できると回答した教員の割合	%	59	76	89	90

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

教師用教科書、教師用指導書、児童・教師用副読本を適切に配布することで、学校における各教科の指導を適切に行うことができた。また、各小学校における芸術鑑賞の委託等を通して、児童の情操教育に寄与できた。また、GIGAスクール構想の環境整備の推進によって、教員及び児童の授業におけるICT活用が進んだ。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	教師用教科書・指導書・副読本等について、各校クラス数に応じた配布に加え、支援学級担任や少人数指導教員が使用するための教科書(朱書き)等の配布を一括管理のもとで行った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	GIGAスクール構想の推進の中で、学習者用デジタル教科書を含むデジタル教材の整備も必須となってくることから、より一層の整備の充実を図ることが求められている。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 教師用教科書、教師用指導書、児童・教師用副読本等の配布については、各校に対する適切な量の配布とともに、今後広がっていくであろうデジタル教科書への対応を合わせて検討する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	図書館司書配置事業	担当課名	指導課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

小・中学校の図書室に、地域人材を図書館司書として配置し、図書の整備を行い、学校図書館を活用する機会を多くする。また、学校図書館における蔵書数の拡充を図ることによって、メディアセンターとしての機能充実にめざす。

(事業概要等)

市内小・中学校11校に専任の図書館司書を配置する。図書館司書は、図書の授業、本の読み聞かせ、調べ学習及び読書指導の補助を行うとともに、休憩時及び放課後の図書室を開室するなど、児童生徒が学校図書館を活用しやすい環境づくりに努める。また、学校図書館における蔵書数を拡充し、児童生徒が読書活動はもとより、学習活動にも積極的に活用できるメディアセンターとしての機能充実に図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,065	15,249	18,098	21,770	
うち市負担分(千円)	6,065	15,249	18,098	21,770	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
児童・生徒一人あたりの図書貸し出し冊数	冊	22	17	19	22

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

システム移行期間、緊急事態宣言下は学校図書館での一人ひとりへの貸し出しに代えて、授業に関わる図書を選び、各クラスに学級文庫として設置するなどの活動を行った。また、本の読み聞かせ、図書だよりなどでの本の紹介、調べ学習及び読書指導の補助、並びに休憩時及び放課後の図書室開室など司書教諭と連携をとりながら、学校図書館教育の充実と活性化を図り、2学期以降は貸し出し冊数も増えた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂された教科書を点検し、学校での学習内容と関わりの深い図書の購入を進めた。 ・令和2年度より、5年計画で学校図書標準を満たすための図書購入予算措置がされているため、廃棄規準についても見直しを始め、刊行から10年以上経っている事典、記述されている内容・資料・表記等が古くなり児童・生徒の活用に耐えない図書の点検を行った。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・大半を占める刊行年の古い図書の入れ替え(電子図書の導入) ・学校図書館の開館時間の延長
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	<p>(左記評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書の勤務時間延長。 ・学校図書館の充実に向けて、授業に使える蔵書数の充実とともに、新聞紙の配備、選書規準、廃棄規準の設定もあわせて行っていく必要があると考える。
改革・改善策等の具体的内容	<p>図書館司書が全校に配置できないことは、図書館教育の充実に関して大きな影響を与えると考えられるため、報償費について待遇改善、公共図書館との連携を図る。学校図書館等に配備する新聞を購入していく。刊行から20～40年となる古い本や日光による日焼けで傷みの激しい本も多いことから、図書の入れ替えを計画的に行っていく。(電子図書の導入もあわせて行っていく。)</p>	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	団体等育成支援事業(指導課)	担当課名	指導課
-----	----------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

学校園内における研修以外に、教職員が自主的に研究会を組織し、研修を行うことで、一人ひとりの教職員の資質向上を図る。

(事業概要等)

小学校の教科別研究部会や教科外の研究部会ならびに泉大津美育研究会など、教職員の研修組織における研修活動を支援し、一人ひとりの資質向上を図る。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	820	410	484	860	
うち市負担分(千円)	820	410	484	860	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
全国学力調査質問紙の「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」の項目の肯定的回答	%	74	/	83	85

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

小学校教職員による教科研究部会や事務職や栄養士など教科外の教職員による研究部会をはじめ、泉大津美育研究会等において、それぞれの教科・領域の研究・研修を行い、成果を各校における実践に役立てている。しかしながら、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響によって、規模の縮小や研究冊子等の作成取りやめなどをしなければならない状況のもとでの実施となった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 小学校の教科研究部会や教科外研究部会等において、研究・研修を支援し、教職員の教育的力量を今後も継続して高める必要があることから、各種研究部会による取組みの継続が求められる。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	中学校給食事業	担当課名	教育政策課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

学校給食法の趣旨に則り、生徒に安全で安心な学校給食を提供することにより、心身の健全な発達に資するとともに、食育の推進を図ること等を目的とする。

(事業概要等)

- ・中学校給食実施のための環境整備
- ・中学校給食実施に係る調理業務等委託
- ・中学校給食費徴収業務

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	131,593	173,687	197,362	243,363	
うち市負担分(千円)	71,392	56,750	83,134	124,160	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
給食残渣率年間平均	%	13	17	22	15

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

小中学校の栄養教諭と教育委員会の管理栄養士及び委託業者との会議において、前月の献立に対する反省を実施すると同時に、どのような献立であれば中学生は食べるのかという観点から打ち合わせを行い、献立の改善に努めたが、コロナウイルス感染症の影響のため、学級閉鎖などで喫食できない日も多く、残渣率は前年度より増加した。その中でも、橋本市の棚田米を給食に使用し、リモートで米の生産についての学ぶ場を設ける等、生徒の食育への意識を向上させる取り組みは実施することができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	小中学校の栄養教諭、教育委員会の管理栄養士及び委託業者において、生徒の嗜好を考慮した献立の工夫を行うための会議を開催するとともに、より生徒の健康に資する食材の選定を行っている。また、家庭配布用の献立表に、食育に関する記事を掲載している。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	現状の給食に対し、生徒がどのように感じているのか、アンケート調査等を通じて把握し、今後の給食に生かしていくことが必要と考えられる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後においても、委託業者と市が連携して安心・安全な給食提供を継続する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	全生徒に安心・安全な給食を提供できるよう、アレルギーの対応を定めたマニュアルの更新を適宜行うほか、アレルギーに係る事故やヒヤリハット事例を全校で共有し、未然に防ぐための対応について検討する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	中学校教育振興事業(指導課)	担当課名	指導課
-----	----------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

大阪府が主催する全教科の研究部会に参加、中学校教職員の教育技量および指導力向上を図る。また、中学校部活動における全国大会出場参加への補助を行う。

(事業概要等)

- ・大阪府研究協議会へ参加し、府下で行われた研修成果を市内中学校において共有する。
- ・泉大津市においても教科研究部会を全教科について実施する。
- ・中学校の部活動において、全国大会等へ出場する生徒および引率教員等への補助を行う。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,235	512	1,067	1,312	
うち市負担分(千円)	1,235	512	1,067	1,312	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
中学校クラブ活動(大会出場学校数)	校	6	0	8	8

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

大阪府の主催する各研究部会に参加し、大阪府下の学校の取組みや教員の実践を共有することにより、生徒にその成果を還元することができた。また、コロナ禍の中、各研究部会負担金の負担額減少など、さまざまな影響も見られたが、部活動においては、全国大会及び近畿大会にも出場することができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 教職員の教育技量の向上を図るためにも、今後も継続的に大阪府の各教科の研究部会に参加する必要がある。また、中学校における部活動が全国大会等へ出場する際の支援も継続が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実
事業名	中学校教育振興事業		担当課名	指導課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
生徒一人ひとりの個性と能力を尊重した心豊かな人間性を育むための、教育内容と教育方法の充実を図る。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・法令に基づき、中学校教科書採択に伴う教師用教科書、教師用指導書、生徒・教師用副読本等を配布する。 ・中学校の生徒指導・進路指導・クラブ活動に伴う通信費および消耗品費を負担する。 ・中学校の音楽会に係る会場借り上げ料を負担する。 ・中学校における教員等の事務業務等の補助に従事するスクールサポートスタッフの配置を行う。 ・学習支援アプリ(デジタルドリル教材)・授業支援アプリ(ロイロノートスクール)・プログラミング教育に係る教材を導入して、タブレット端末1人1台配備における新しい学習環境の整備を行う。 ・中学校と隣接府立学校が連携し、授業交流・相互参観・高校教員による出前授業・卒業生による出前講演など、中高連携の推進を図る。 ・法令に基づく中学校教科書採択に伴う教師用教科書、教師用指導書、生徒・教師用副読本等の配布を行う。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,196	2,745	11,364	8,708	
うち市負担分(千円)	3,196	1,972	8,921	7,125	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
授業中にICTを活用して資料を効果的に提示できると回答した教員の割合	%	58	73	85	90
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
教師用教科書、教師用指導書、生徒・教師用副読本を適切に配布することで、学校における各教科の指導を適切に行うことができた。また、各中学校において音楽会を開催するなど、生徒の情操教育に寄与できた。また、GIGAスクール構想の環境整備の推進によって、教員及び生徒の授業におけるICT活用が進んだ。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	教師用教科書・指導書・副読本等について、各校教科担任による担当学年に応じた配布に加え、デジタル教材の導入について、先行して研究を行った。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	GIGAスクール構想の推進の中で、学習者用デジタル教科書を含むデジタル教材の整備も必須となってくることから、より一層の整備の充実を図ることが求められている。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 教師用教科書、教師用指導書、生徒・教師用副読本等の配布については、各校に対する適切な量の配布とともに、今後広がっていくであろうデジタル教科書への対応を合わせて検討する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実
事業名	伝統文化推進事業	担当課名	指導課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津市において、我が国の伝統文化の継承・発展のために、専門家等を外部指導者として活用することによって、児童生徒の伝統文化についての理解促進に努めるとともに、我が国の伝統文化の継承ならびに発展に寄与しようとする意識の醸成を図る。

(事業概要等)

小・中学校において、伝統文化(華道、茶道、落語、古典芸能、娯楽文化、邦楽等)に関する専門家等の外部指導者を活用し、児童生徒が直接伝統文化に親しむ機会を設ける。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	164	210	150	251	
うち市負担分(千円)	164	210	150	251	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
小学校・中学校における講座回数	回	3	4	4	5
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
茶道や華道、落語など我が国の伝統文化に触れる活動を体験することで、その楽しさや奥深さを感じるとともに、児童生徒の伝統文化に対する関心は高まっており、効果が見られる。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、茶道の実施を行うことができなかった。今後、感染対策を徹底した上で、伝統文化に触れる活動の工夫が必要とされる。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 講師との日程調整をはじめ、時間の確保についても課題があるものの、我が国の伝統文化に直接児童生徒が触れる機会を持つことは必要であるため、継続する必要があると考える。
	改革・改善策等の具体的内容	少人数で行うなど、感染対策を徹底しながら、児童生徒が伝統文化に触れられるような工夫を行っていく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	明日を拓く学校づくり推進事業	担当課名	指導課
-----	----------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

各学校園において、様々な教育課題についての研究・研修を行い、学校力の向上や教職員の資質向上を図るとともに、学校・家庭・地域が協働し、地域をあげて子どもを育てる教育コミュニティづくりを推進する。

(事業概要等)

- ・小・中学校全教員対象の全体研修会を実施するとともに、各学校園において様々な教育課題の研究を進める。
- ・各中学校地域教育協議会へ事業委託を行い、学校・家庭・地域が協働して子どもを育てる体制づくりを推進する。
- ・校長会への研修委託を行うことによって、年々複雑・多様化する教育課題への対応を進める。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,393	490	1,298	0	
うち市負担分(千円)	2,252	490	698	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
全国学力・学習状況調査における学校質問紙において、「校内外の研修の積極的参加」肯定的な意見の学校の割合	%	100	/	100	
全国学力・学習状況調査における学校質問紙において、「地域の教育活動への参加」に肯定的な意見の学校の割合	%	100	/	91	

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

- ・市全体の教職員研修において、タイムリーな教育課題について講師を招へいし、教職員の知識の拡大や資質の向上を図ったり、地域教育協議会への委託を通して、地域と学校が協働した取組みの充実に努めたりしてきたが、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で地域教育協議会への委託はできなかった。
- ・各学校独自の課題に対する研究・研修の推進については、その成果を他の学校にも情報提供し成果を共有できた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	次年度の市指定研究校のテーマを指定することで、市の施策と学校の取組みの焦点化を行った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市指定研究校及び特色ある取組み推進事業において、校長会への委託契約として事業を行ってきたが、令和4年度以降は補助金として運営するとともに、教職員研修事業へ移行する必要がある。 ・総合的教育力活性化事業においても、各中学校区の地域教育協議会への委託契約として事業を行ってきたが、令和4年度以降は各小中学校への補助金としての運営や、コミュニティ・スクール推進事業へ移行する必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 教職員の資質向上等のためには研修や校内研究が不可欠であり、この事業を継続していく必要がある。また、地域との協働の観点も今後欠かすことのできないものであり、継続していく必要があると考える。
改革・改善策等の具体的内容	市指定研究校事業、総合的教育力活性化事業とともに、令和4年度以降は補助金として運営するとともに、それぞれ教職員研修事業、コミュニティ・スクール推進事業へ移行する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	3	学校教育の充実
事業名	幼稚園維持管理事業		担当課名	こども育成課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

幼稚園施設は、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が進み、安全対策が必要となっている。また、近年、他市においては幼稚園に不審者等が侵入するなど、園児や教職員の安全確保や通園路における交通安全などが課題となっており、幼稚園環境における安全・安心の取組みが必要となっている。

(事業概要等)

幼稚園児の安全・安心な学習環境の確保のために、園舎の改修や修繕等を実施するとともに、幼稚園の正門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うことにより不審者の侵入を未然に防止するなど、園児の安全確保に取り組んでいる。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11,133	18,032	26,773	18,375	
うち市負担分(千円)	11,133	18,032	26,773	18,375	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
不審者の侵入件数	人	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
幼稚園の正門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うことにより、不審者の侵入を防止することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・非常通報装置(H14～)(令和2年度更新完了) ・校門見守り員の配備(H17～)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	幼稚園施設については、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が深刻な課題となっている。また、限られた予算内において、年次計画的かつ可能な限り早急に、安全面や機能面の改善を図ることが課題である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 年次計画的かつ可能な限り早急に改善が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	今後の施設のあり方については、令和2年10月に策定した泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画をもとに今後、民間認定こども園化が進んでいくが、現在、在園中の子どもたちや職員の安心、安全に関わる部分については、随時取り組んでいく必要がある。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	3	学校教育の充実

事業名	幼稚園施設整備事業	担当課名	こども育成課
-----	-----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

幼稚園の環境整備及び維持管理を継続的に実施することにより、良好な教育環境の保持を図ることを目的とする。

(事業概要等)

- ・トイレ改修工事設計業務委託
- ・トイレ修繕
- ・非常通報装置設置業務

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	815	4,621	30,639	4,863	
うち市負担分(千円)	815	4,621	30,639	4,863	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

- ・旭幼稚園のトイレ改修工事を完了し当該園の衛生環境の改善を進めることができた。
- ・条東幼稚園公共下水道切替工事を完了し当該園の衛生環境の改善を進めることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後の施設のあり方については、令和2年10月に策定した泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画をもとに今後、民間認定こども園化が進めていく。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	④	つながりある教育体制の充実

事業名	家庭教育支援事業	担当課名	指導課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

学校園所と連携を図りながら、就学前施設・小・中学校に子どもが在籍するさまざまな課題を持つ家庭に対する訪問型の家庭教育支援や「未来に向かう力」の啓発を通じた保護者支援を行う。

(事業概要等)

学校や福祉部局等からの依頼に対して、支援が必要と判断した保護者に対し、「家庭訪問型」と「小学校配置型」とを組み合わせながら保護者のエンパワメントをめざす。また、福祉部局や就学前施設との積極的な連携のもと、リーフレット「未来に向かう力」の啓発を行うとともに、おしゃべりサロンを開催して、保護者どうしの交流機会・学習機会の提供を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,870	1,781	1,968	2,212	
うち市負担分(千円)	788	510	1,461	766	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
家庭教育支援サポーター派遣回数	回	421	529	439	500
家庭訪問型支援を行った家庭数	家庭	24	19	19	20
小学校配置型支援で情報共有した児童生徒数	人	35	32	32	35

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

家庭教育支援サポーターと話すことで、保護者のストレス軽減とともにサポーターへの信頼関係が生まれ、徐々にではあるが現実の問題と向き合うことができるようになった。保護者の変化に合わせて児童生徒の学校での様子にも変化が見られるようになった。また、小学校配置型支援を通して、小学校教員と密に情報共有するとともに、課題の早期発見・早期対応が可能となった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	福祉部局と積極的に連携し、対象家庭を0歳から6歳の子どもをもつ家庭(妊娠期も含む)に拡大するとともに、非認知能力の育成に向けた取組みを合同で行っている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	・市単費による活動財源が不足している。 ・家庭教育支援サポーターによる成功体験を感じとれていない学校園がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 小中学校に限らず、0歳から15歳までの子どもをもつ保護者を対象に家庭教育支援を展開する意義は高いと考える。福祉部局と連携した全市的な取組みとして発展させるためにも、活動財源のさらなる確保が必要と考える。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	④	つながりある教育体制の充実

事業名	環境教育推進事業	担当課名	指導課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

児童が環境の保全や地球規模で生じている環境問題の解決及び持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動する意欲や態度を育むため、関係部局と連携しながら、全ての教科等において横断的、総合的に環境教育を推進する。

(事業概要等)

環境教育指導員等が環境教育出前講座を通じて、身近な自然体験・観察や地球温暖化等の様々なプログラムを実施する。また、大津川においては自然体験を重視した「水辺の学校」を、校内外ではさまざまな体験活動を実施する。また、食品ロスに焦点をあてた「食べ残しゲーム」を通して持続可能な社会の形成者としての意識醸成につなげる。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,310	711	240	1,056	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
環境教育指導員配置による出前授業実施校	校	4	5	4	8
環境教育出前講座実施回数	校	3	0	2	3
大津川環境探検学習(水辺の学校)実施校	校	1	0	1	1

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

児童生徒が、環境カウンセラーや森林インストラクター等による出前授業等を通じて、環境に関心を持ち、主体的に調べようとする態度などの変化がみられた。また、体験学習を通じて、机上では感じられない自然を体感するなど環境について深く知ることができた。また、水辺の学校では大津川での実体験を通じ、川の役割を理解し、川に棲む生物を大切にしたい気持ちを育むことができた。また、清掃活動を行うことにより川などの公共の場にごみを捨てないという環境教育の啓発を行うことができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	出前講座の内容を児童の実態や興味に応じたものに精選したり、新しい内容を取り入れたりするなどの改善を図った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	教育課程や学校行事等により2時間続きの出前講座を設定しにくくなっている現状から、1時間で完結する内容の出前授業が好まれる傾向があり、年度当初に講師と授業内容について詳細に話し合うなど、講座内容をあわせていく必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 環境に対する興味・関心を高め、体験的な学習等を通して環境問題の解決のため行動する意欲や態度を育むため、必要な事業である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	④	つながりのある教育体制の充実

事業名	自学自習支援事業	担当課名	指導課
-----	----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

児童生徒が自分で学習する習慣を身に付けるとともに、学力を定着させる。

(事業概要等)

市内8ヶ所(各小学校区)で放課後の学校の教室を活用し、各小学校区の3年生以上を対象に、放課後の家庭学習を支援する。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,798	28,614	4,105	5,286	
うち市負担分(千円)	4,798	24,379	3,979	5,286	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
学びっこ支援ルームの参加児童数	人	216	196	249	260

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

学習支援員の指導のもとで、各小学校区の教室等が児童の放課後学習を保障する場として、また、自分で学習する習慣を身に付ける場として有効に機能している。
学習支援アプリを活用することで、家庭学習と授業との往還が可能になるとともに、新型コロナウイルスの感染拡大等にもなって臨時休校等になった際のリモート学習でも学びを保障することができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> 児童への支援環境整備や安全確保の観点から、指導員を増員した。 ドリル機能等が充実している学習支援アプリへの導入 市内8ヶ所(各小学校区)の実施場所が全て校内へ移行された。(R4)
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> 指導員の安定的な確保 放課後児童クラブの児童の入室が増加していることに伴うさらなる連携の充実が必要。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 放課後の家庭学習の充実や学習習慣の定着に向けて、居場所づくりの観点からも今後とも一層の支援や対策が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	④	青少年育成

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	担当課名	指導課
-----	--------------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
学校や通学路における子どもの安全確保を図るため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。
(事業概要等)
警察官OBをスクールガード・リーダーとして委嘱し、各学校を定期的に巡回する中で、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価、また、スクールガード(登下校の際に、子どもの安全見守り隊として、交差点等に立っけていている地域の人々)に対する指導等を行う。 泉大津市こどもサポートセンター活動員が朝夕の市内巡回指導を行うとともに、学校訪問の実施などを通して、生徒指導上の様々な課題の未然防止・早期解決を支援する。また、課題を抱える青少年の自立支援や環境づくりに取り組む。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,346	6,498	7,103	7,340	
うち市負担分(千円)	5,128	5,217	5,791	6,176	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
スクールガードリーダー配置日数(1人あたり)	日	80	81	78	83
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
子どもが巻き込まれる事件が年々増加している中、本市における児童生徒を対象とした、犯罪等は減少の傾向にあり、本事業が一定の抑止力となっていると考えられ、スクールガード・リーダーの巡回は、地域や保護者等の防犯意識啓発のための一翼を担っていると考え。 こどもサポートセンター活動員の市内巡回、学校や警察との連携によって、課題を抱える青少年とその家庭への継続的な見守りができている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダーは警察官OB、こどもサポートセンター活動員は校長OBと警察官OBから選出しているため、今後における安定的な人材確保について課題がある。 ・確保状況の改善にともなって、配置日数の増加も検討していく。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 児童の安全確保、地域の防犯意識の向上に向けて、今後とも本事業は必要である。こどもサポートセンターと警察をはじめとした関係諸機関との連携強化など、子どもたちの安全確保に向けた体制整備を継続して取り組んでいく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	4	つながりある教育体制の充実

事業名	放課後子ども教室推進事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

地域の大人の協力を得て、子どもたちに読み聞かせなどを行い、本を読む機会を増やすとともに子どもの居場所づくりと地域住民の交流活動などを支援する。

(事業概要等)

近隣自治会や地域のボランティア等の協力を得て、学校の図書室を地域開放し、子どもたちの活動拠点(居場所づくり)を確保。読み聞かせなどのイベントを行い、本を読む機会を増やすとともに、さまざまな催しを行うことで、地域住民との交流活動等を支援する。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	420	420	420	700	
うち市負担分(千円)	355	225	225	375	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
開設日数(りぶれEBISU)	日	38	22	24	40
開設日数(ミント条東)	日	10	3	2	12
開設日数(ブックランド・あさひ)	日	11	1	3	12

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

・小学校の図書室を定期的に開放し、地域の子どもを中心に読書をするほか、さまざまなイベントなどを行うことで、市内における居場所づくり、地域交流の拠点の一つとなっている。
・新型コロナウイルスの影響により開催回数は減少している。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	地域の自治会やボランティアの方によって運営される委託事業であるため、これまでに特段の事務の見直し等の実施はない。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	継続的な運営の担い手の掘り起こしや確保。
---------	----------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 読書環境や地域の交流拠点の整備には、今後も継続的な実施が必要であるため。
改革・改善策等の具体的内容	現行の3校に加え、地域開放実施校を増やすことを考えている。今後も継続的な地域開放事業が行えるよう、運営の担い手の掘り起こしや確保に注力する必要がある。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	②青少年育成	1	健全育成の環境づくり
事業名	青少年育成事業		担当課名	スポーツ青少年課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

学校・家庭・地域が一体となって青少年の社会への興味・関心を育み、学習や活動を支援していくことで、青少年が夢を持って社会参画できるまちをめざす。

(事業概要等)

- ・青少年問題に関する総合的な審議を行う「青少年育成協議会」の運営 ・少年補導協助手員への報償費の支払
- ・青少年育成事業の委託(少年少女合唱団) ・ジュニアリーダー育成講習会の実施

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,587	1,220	1,224	2,661	
うち市負担分(千円)	1,587	1,220	1,224	1,470	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
こども体験学習参加者数	人	0	0	0	廃止
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
新型コロナウイルス感染症により宿泊を伴う体験学習を実施することができなかった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和2年度: 青少年環境整備啓発推進員報償費の廃止
--------	---------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・「青少年育成協議会」の運営の在り方 ・こども体験学習、ジュニアリーダー養成講習会の廃止に代わる、青少年健全育成のための多様な経験ができる機会の創出 ・関連団体の規模の縮小化
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 上記課題について改善に取り組む必要があるため
改革・改善策等の具体的内容	子どもにとって、様々な経験ができる講座を実施する。講座の実施にあたっては、放課後子ども教室の実施等で実績のある民間業者に委託し、市域で講師として活躍できる人材の発掘支援やノウハウを提供してもらうことで、児童の継続的な健全育成に寄与する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	②青少年育成	1	健全育成の環境づくり

事業名	青少年指導員活動支援事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	--------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

青少年の健全育成と非行防止を目的とした活動を青少年指導員協議会に委託し、青少年が健全に育まれる社会の実現を目指す。

(事業概要等)

・市長より委嘱された各校区で活動する青少年指導員を支援する。
・青少年指導員の活動としては、「少年を守る日」の街頭啓発や祭礼時の夜間パトロールなどがある。
また、市民体育祭、成人式、泉州国際マラソンなど市内で行われるイベントの運営にも携わっている。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,084	938	793	951	
うち市負担分(千円)	1,084	938	793	951	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
青少年指導員数	人	89	86	88	90

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

成人式や市民体育祭など様々なイベントの運営に携わっており、地域の協力を得ながらイベントを実施するにあたり欠かせない存在となっているが、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、活動の縮小を余儀なくされた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	青少年指導員数の減少を防ぐとともに、メンバー変更時の引継を容易にするため、経験豊富な人材については、青少年指導員協議会からの推薦という形で、指導員への就任を依頼している。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	各自治会から推薦される青少年指導員の高齢化や自治会員の減少により、指導員の確保が難しくなっている。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 青少年指導員の高齢化等による担い手不足への対策が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	経験豊富な人材の確保に取り組むとともに、他団体と類似する活動については共同で実施していくなど事業のあり方について検討する必要がある。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	②青少年育成	2	青少年の社会参画の推進

事業名	成人式事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	-------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

新成人を祝うとともに、新成人としての自覚を促すため、成人式を実施する。

(事業概要等)

大学生や新成人など若者を中心とした実行委員会の企画、運営による成人式を開催し、新成人の門出を祝う。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,303	4,310	2,391	2,285	
うち市負担分(千円)	1,303	1,327	1,800	2,285	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
新成人の成人式出席率	%	78	74	74	80

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

コロナ禍においても、成人の出席率は府域全体と比較しても高い値となっている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度より新型コロナウイルス感染症対策として、2部制での実施とし、ライブ配信の実施や、ドローンによる集合写真撮影を取り入れた。 ・R3年度には、新成人にアンケートを実施し、ニーズ調査を行った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<p>企画委員については毎年公募をしているが応募数が少なく、選出方法を検討する必要がある。</p> <p>また、R4年度より成年年齢が引き下げられ「二十歳のつどい」に名称変更して本事業を継続するが、開催主旨等を改めて整理した上で企画委員とともに事業実施していく必要がある。</p>
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 企画委員の確保と、式典内容の見直しが必要であるため
改革・改善策等の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・企画委員の公募開始時期を例年より早め、委員の確保に努める。 ・R3年度に実施したアンケート等をもとに、「二十歳のつどい」の実施内容を企画委員とともに進めていく。 	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	③生涯学習	1	生涯学習推進体制の整備

事業名	社会教育活動推進事業	担当課名	生涯学習課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

社会教育に関し、教育委員会に助言することを任務とする社会教育委員会議の運営を行う。
また、生涯学習を推進するため、大学との連携、公民館活性化等の事業を行う。

(事業概要等)

社会教育活動を推進するため、社会教育委員会議で事業内容について審議を行う。
また、生涯学習を推進するため、南大阪コンソーシアム連携事業、公民館等施設活性化事業、親学習事業、外国人や識字学習者向けの日本語よみかき教室などを行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,256	3,005	1,867	4,035	
うち市負担分(千円)	1,076	1,904	1,781	3,855	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
社会教育委員会議(研修等含む)開催回数	回	3	1	3	6
親学習開催回数	回	3	5	7	8
よみかき教室開設日数	数	37	32	36	46

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

・親学習リーダーを中心とした学習会の開催回数であり、回数を多くすることで学習提供の機会を創出できた
と考える。
・社会教育委員会議については、新型コロナウイルスの影響により研修会は中止となったが、会議は書面開
催1回を含め3回行うことができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動関連の予算について、令和3年度は3校分だったが、本年度から全学校分の計上とした。 ・社会教育委員会議については、オンラインによる開催もできるように規則改正を行った。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	地域、学校教育、生涯学習が連携した教育・学習活動をより進めることが課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 社会教育委員会議の運営は必須である。 大学連携等についても、引き続き発展的に実施する。
改革・改善 策等の具体 的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	おてんのう会館管理運営事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

地域コミュニティ醸成の場であるおてんのう会館の運営を支援する。

(事業概要等)

おてんのう会館の運営に必要な経費(光熱水費等を除く)を負担し、地域住民の生涯学習の拠点となるよう運営する。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	256	245	643	239	
うち市負担分(千円)	256	245	643	239	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
延べ利用者数	人	7,590	2,334	2,000	5,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

- ・地域住民の生涯学習拠点として利用が図られた。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から臨時休館している期間があったため、大幅減となっている。
- ・令和3年度も新型コロナウイルスの影響によりカラオケ教室等の利用中止により減となっている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	公共施設適正配置計画との関連もあり、あり方の検討が必要である。
---------	---------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 施設の実際のサービスから考えられる運営形態にすることが望ましいと考える。
	改革・改善策等の具体的内容	施設の実際の役割が、一般的な自治会館と同様であることから、その運営形態も同様にする方が、住民の公平性から考えても適当であるので、地域の自治会館となるべく、地域に権利を移すことが望ましい。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充 実

事業名	ブックスタート事業	担当課名	生涯学習課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

すべての世代が学びあい、育ちあえるまちをめざし、「絵本」を通じて、赤ちゃんと保護者に心地よい・心触れ合う、ひと時を過ごしていただくとともに、「絵本」の素晴らしさを実感・体験してもらう。

(事業概要等)

乳児(4か月)と保護者に絵本を贈り、ボランティアによる読み聞かせを行う。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	609	616	585	532	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
ブックスタート参加率(参加人数/4ヶ月健診対象者)	%	92	95	95	100

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ブックスタートの意義の説明や読み聞かせなどが実施できない状況にあり、絵本の配布のみ実施。通年で560組の親子に配布。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	健診を欠席される親子が例年より多いため、後日市立図書館にお越しいただいて絵本を手渡しできるように保健センターと連携を取っている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 乳児期に絵本を使って親子のコミュニケーションをはかり、かつ本のある生活により読書を習慣付けることに寄与しているため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実
事業名	学校図書室地域開放事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

地域の大人の協力を得て、子どもたちに読み聞かせなどを行い、本を読む機会を増やすとともに子どもの居場所づくりと地域住民の交流活動などを支援する。

(事業概要等)

学校図書室開放時に子どもたちのためのイベントを催す際、ボランティアに謝礼を支払う。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	25	5	5	100	
うち市負担分(千円)	25	5	5	100	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
図書室開放事業に伴うイベント開催日数	日	5	0	1	6
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和3年度についても新型コロナウイルス感染防止の観点からイベントの回数は減少している。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	地域の自治会やボランティアの方によって運営される委託事業であるため、これまでに特段の事務の見直し等の実施はない。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに招致する講師等のラインナップが少ない。 ・例年と同じ内容のイベント実施が多い。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 読書環境や地域交流拠点の整備には、今後も継続的な実施が必要であるため。
改革・改善策等の具体的内容	イベント実施の際は、招致する講師等のラインナップにバリエーションをもたせられるよう、各委託先の団体へ働きかける。 地域開放実施校を増やすことで、イベントの回数、バリエーションも増えると考えます。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	環境体験学習推進事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課
-----	-------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

子どもたちと自然環境とのかかわりを通じて、環境学習を推進する。

(事業概要等)

参加者(泉大津市・日高川町内の小学生)に対し、和歌山大学の教員や学生が作成した教育プログラム(2泊3日の宿泊を伴うプログラム)を提供し、交流や体験を通じた環境教育を促す。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,315	3	1,386	1,466	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
参加者	人	29	30	0	30
教材冊子	冊			6,000	

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により、体験学習ができないため、新たな取り組みとして、和歌山大学の生徒が泉大津市と日高川町で取材した内容をまとめて、小学生向けの教材として、冊子と映像を作成した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和3年度については、体験学習ができないため、小学生向けの教材を作成した。令和4年度については、新型コロナウイルスの状況を考えデイキャンプとし、キャンプの事前、事後学習で令和3年度に作成した冊子を活用したいと考えている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	令和3年度作成した冊子をどのような形で活用し、効果検証するかが課題と考える。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 継続することが、環境学習の推進につながると考える。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充 実
事業名	勤労青少年ホーム運営・維持管理		担当課名	生涯学習課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

法改正により「勤労青少年」のうち「勤労」及び「勤労青少年ホーム」に関する規定が削除となったが、社会教育関係団体を中心とした活動拠点として運営を行っている。

(事業概要等)

機構改革により、勤労青少年に対する各種の相談事業がなくなり、クラブ活動その他の地域活動の拠点としての管理運営事業を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	10,564	8,973	11,275	9,763	
うち市負担分(千円)	9,724	8,713	11,077	9,763	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
総利用者数	人	24,373	11,249	12,158	13,000
利用者数(ホーム利用対象者である勤労青少年)	人	4,364	383	536	600
(指標を設定できない理由)					
勤労青少年に対しての各種相談事業は、機構改革により本庁に移管					
(成果の概要)					
当ホームの利用団体及びクラブ等に対し、自主的活動を支援することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームの老朽化に加え耐震補強の件で、将来廃止の方向で検討されているが、社会教育施設としての存続の声が強くなっている。 ・泉大津市公共施設適正配置基本計画では第2期(令和4年～8年)に廃止。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	<p>(左記評価の理由)</p> <p>現在の施設では耐震基準も満たしていない状態であり、ハード面での機能は廃止するものである。</p>
改革・改善策等の具体的内容	令和3、4年度で策定する教育施設再編計画の中で、他施設との複合化を検討する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充 実

事業名	新図書館整備事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

本を読む、学習する、調べるといった機能や、市民が憩い、安らぎ、暮らしを楽しむ公共空間としての機能を強化しながら、多様化・複雑化する市民ニーズや知的好奇心、興味に幅広く応えるため、また図書館の集客性を活かして様々な層の来館者の交流を促進し、駅周辺の恒常的なにぎわいの創出を図るため、「多種多様なイベント・セミナー」を積極的に開催するとともに、中小企業等が抱える経営課題や、創業時の課題に対して必要な書籍や情報を提供することで、企業の業績改善など様々な課題の解決に寄与し、また創業しやすい土壌を整備する「ビジネス支援機能」を充実させるなど、新たな付加価値を有した「泉大津市の魅力・情報の発信拠点」としての機能を持つ新しい図書館を整備する。

(事業概要等)

新図書館整備に伴う工事等関連費用

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)		191,757	27,269		
うち市負担分(千円)		151,757	27,269		

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値

(指標を設定できない理由)

図書館の完成が成果となることから指標化には馴染まないため。

(成果の概要)

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 令和3年9月新図書館開館に伴い、令和3年度をもって廃止
	改革・改善 策等の具 体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	図書館運営・図書館維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

公共図書館として、資料の収集・整理・保存を行い、市民の利用に供し、市民の求める情報等を把握し、読書に親しむ機会を提供する。そして、読書が生活の中に習慣付けられ表現力や想像力等を養っていくうえで、その一助になるよう努める。また、IT化等の推進により利用者の利便性の向上、事務の効率化を図っていく。

(事業概要等)

図書等の整理及び貸出、返却業務(配架も含む)、レファレンス業務、イベント・企画業務、学校等団体貸出業務、予約、蔵書点検、施設の維持管理及び修繕。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	34,891	33,076	160,966	149,884	
うち市負担分(千円)	34,871	33,076	160,966	149,884	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
来館者数	人	-	-	203,344	160,000
貸出人数	人	64,033	51,163	59,106	75,000
貸出冊数	点	240,954	204,545	204,306	600,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

緊急事態宣言中の開館にもかかわらず多くのお客様にご来館いただき、前年度目標値の2倍近い実績となった。課題解決型を大きく打ち出した図書館運営のため、直接的な貸出数は旧図書館から横ばいであるが、サービスの柱であるビジネス支援サービス・学校支援サービス・多種多様なイベントの実施は予定を上回る活動となっている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	来館者数に比して、貸出人数・貸出冊数ともに指標が伸び悩んでいること。
---------	------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 9月開館からの数字であるが、来館者数及びイベント実施数は目標値を大きく上回っているため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	先端教育人材育成事業	担当課名	教育政策課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

先進的な技術や取組みの新たな可能性に触れる機会となる講演会等を実施することでIoT等への関心を高める。また、能力開発等の先端教育を実現することにより、中長期的な人材育成や確保を図る。

(事業概要等)

・教職員がビジョントレーニング研修を受講することで、子ども達の身体能力の向上や運動・学習障がいの改善を図る。
・先進的な技術や取組みの新たな可能性に触れる機会となる講演会等を実施する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	823	120	561	672	
うち市負担分(千円)	823	120	561	672	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
講演会開催数	回	1	0	0	1
ビジョントレーニング研修会参加人数	人(述ベ)	72	55	113	30
教員実践研修		—	—	5	6

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

ビジョントレーニングを活用し、子ども達の身体能力の向上や運動・学習障がいの改善を図るため、小中学校・保育所・幼稚園・認定こども園の職員を対象にビジョントレーニング研修を実施。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	成果指標や事業期間のゴールの設定が困難。
---------	----------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ・先進的な取組みを通じて、人材育成を図る。 ・多くのひとに講演会等に参加してもらうため情報の周知啓発を図る。
	改革・改善策等の具体的内容	・先進的な取組みについて研究・情報収集を継続して実施する。 ・講演会等を実施する場合は広報誌・ホームページ・SNSを活用し、多くの方が参加できる機会をつくる。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実
事業名	団体等育成支援事業(生涯学習)	担当課名	生涯学習課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

社会教育活動に尽力するとともに、活動を通じて市の社会教育の向上に貢献している社会教育関係団体を支援する。

(事業概要等)

社会教育に関わる各団体への助成を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,612	1,747	2,163	2,631	
うち市負担分(千円)	2,612	1,747	2,163	2,631	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
活動を通じた市の社会教育の向上への貢献を目的とするため、数値化することは困難					
(成果の概要)					
各社会教育団体の活動が活発に行われることによって地域貢献が行われた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	団体補助であり、運営補助であるので、補助金がどのような事業でどう活用されたのか確認することが難しい。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 同上
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び環境の充実

事業名	南公民館運営事業・南公民館維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

すべての世代が学びあい育ちあえるまちをめざし、市民にとって身近な公民館施設は、市民の実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の実施をもって、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及び地域コミュニティの活性化に寄与することを目的とする。また、その事業目的に必要な施設である南公民館の維持管理をする。

(事業概要等)

定期講座・講習会・討論会・講演会・実習会・展示会等を開催する。
 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図る。
 体育、レクリエーション等に関する集会を開催する。
 各種団体、機関の連絡を図り、施設を住民の集会その他の公共的利用に供する。
 南公民館の利用者が快適に使用できるように維持管理をする。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11,766	12,805	12,031	21,377	
うち市負担分(千円)	11,766	12,805	12,031	21,377	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
各室使用回数	回	2,919	1,707	2,077	3,500
各室使用人数	人	34,472	18,003	22,286	50,000
各クラブ開催回数	回	1,574	1,128	1,327	1,900
各クラブ利用延べ人数	人	18,458	14,008	15,654	26,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

主催講座として、子どもから高齢者までの各階層向けの講座60回開催し、570人(延べ人数)の参加者があった。講座内容については、市民の学習要求の高い趣味・教養などの文化・学習の講座への対応だけでなく、人権学習会を開催するなど、現在的課題の学習機会を提供した。また、自主クラブ(47クラブ)の活動に対して場所の提供、運営の助言を行った結果、活発なクラブ活動が展開された。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公民館で学んだことを地域に還元する「知の循環」を進めるため、自主クラブによる出前講座の推進を図った。公民館主催講座を開催し、講座で学んだことを継続して学ぶための自主クラブの立ち上げを推進する。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	利用者の高齢化とクラブ員の減少への対応。公民館活動で身につけた教養を地域社会に還元する活動(知の循環)。現在的課題(生命・健康・人権・高齢化問題等)をテーマとした講座の企画・立案や講師の選定。老朽化(築49年)した施設の運用課題を利用者と共有する必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	(左記評価の理由)
	A 現行どおり 地域住民の学ぶ意欲を育み、人間関係を育てながら学習情報を提供し、地域住民の親睦や交流の場、文化や体育活動の拠点、子育て支援、子どもの居場所の場となっている。館の維持管理は適切に行われ、市民に安心快適に利用されている。
改革・改善策等の具体的内容	・教育政策課が「未来の学びの場」を考えるワークショップを開催し、公民館の現状と問題点を分析し、事業の検証、見直しを行い、新たな学習機会の企画、立案などを行い、地域の活動支援に取り組む。 ・施設のあり方については、令和3、4年度で策定する教育施設の再編計画の中で検討中。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充 実

事業名	北公民館運営事業・北公民館維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

すべての世代が学びあい育ちあえるまちを目指し、市民にとって身近な施設である公民館は、教育、学術、文化及びスポーツ等に関する各種の事業を実施することにより、市民の教養の向上、健康の増進、情操の醸成を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及び地域コミュニティの活性化に寄与することを目的とする。また、その事業目的に必要な施設である北公民館の維持管理をする。

(事業概要等)

定期講座を開設する。講習会・講演会・実習会・展示会等を開催する。
図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図る。体育、レクリエーション等に関する集会を開催する。
各種の団体、機関の連携を図り、施設を住民の集会その他の公共的利用に供する。
北公民館の維持管理をする。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,462	8,523	7,491	9,340	
うち市負担分(千円)	8,112	8,257	7,096	9,124	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
公民館の各室使用回数	回	2,981	1,095	1,351	2,000
公民館の各室使用人数	人	33,947	10,624	11,871	20,000
各クラブ開催回数	回	1,613	921	1,138	1,500
各クラブ利用延べ人数	人	18,477	9,127	9,991	15,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

・北公民館で活動する自主運営クラブに活動場所を提供し、運営の助言を行い、活発な活動が展開されるとともに、その成果を地域に還元する活動を支援した。
・自治会等の各種団体・地域サークルに活動場所を提供した。しかしながら、新型コロナウイルス予防のため臨時休館又は利用制限及び事業の取りやめなどにより、令和元年度実績に比べ、クラブ活動、公民館主催講座、一般利用、全てにおいて利用回数、人数とも大きく減少した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公民館は市民の最も身近な生涯学習拠点として、市民に親しまれるよう主催講座などを開催している。さらに、本市の課題である少子高齢化に対応し、子育て世代や高齢者に役立つ講座の開催と講座参加者の増加に努めた。 また、新型コロナ対策として、消毒液等の利用により徹底したコロナ感染予防に努めた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	公民館利用者やクラブ連絡会役員の高齢化とクラブ員の減少、それに伴うクラブ自体の減少への対応。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地域住民の学ぶ意欲を育み、学びあう人間関係を育てながら、学習情報を提供し、地域住民の親睦や親交の場、集会の場、文化や体育活動の拠点となっている。また、館の運営・維持管理は適切に行われ、市民が安全、安心して快適に利用されている。
	改革・改善策等の具体的内容	市民の学習要求の高い趣味・教養・スポーツなどの文化・学習・健康活動などの対応だけでなく、「集い・学び・結び」をテーマとした、生涯学習に関する発信施設として、公民館での活動内容を地域に還元していくように努めた。 桃山学院大学と連携するサポーターチームにより、公民館事業の検証、見直しを行い、大学の専門的な知見、人材を活用し、新たな学習機会の企画、立案を図り、地域の活動支援に取り組んだ。 施設のあり方については、令和3、4年度で策定する教育施設の再編計画の中で検討中。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	③生涯学習	4	つながりある教育体制の充実
事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課名	スポーツ青少年課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

地域の方々と子どもたちが、共に行う学習やスポーツ・文化活動等の取組を支援し、心豊かでたくましい子どもたちを地域全体で育むことを目的とする。

(事業概要等)

毎週土曜日に校区の児童に安全・安心で日常的・継続的な体験活動の場を提供する「浜パティオ」の事業委託。放課後の子どもの居場所づくり事業として、年に数回の総合型地域スポーツクラブによる放課後子ども教室(子どもジュニアカレッジ)の事業委託。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	537	4	100	250	
うち市負担分(千円)	218	2	1	185	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
「浜パティオ」参加登録者数	人	105	-	-	100
「子どもジュニアカレッジ」参加延べ人数	人	40	-	80	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和2年度は、「浜パティオ」、「子どもジュニアカレッジ」ともに、新型コロナウイルスによる影響で実施できなかったが、今年度は、感染対策を行った上で「子どもジュニアカレッジ」を実施し、約80人の児童が参加し、コロナ禍でも児童が体験活動出来る場を提供することが出来た。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和2年度より学びっ子教室分について指導課へ移管した。
--------	-----------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	地域で活動するスタッフの高齢化や担い手不足が課題である。
---------	------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 事業に継続性を持たせるために、地域人材の発掘に注力していく必要があるため。
改革・改善策等の具体的内容	教育委員会で推し進めるコミュニティスクールとの関連等も視野に入れながら、児童に多様な経験の機会を継続して提供していけるよう、地域人材の発掘手法について調査研究を進める。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	学習館運営・維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

暮らしに文化・芸術・スポーツが息づくまちをめざし、池上曾根遺跡の遺物展示のほか、古代のものづくり体験などを通じて、弥生文化の理解を深めることを目的とする。

- ・弥生時代の遺物の展示(大型建物掘立柱・大井戸枠など)
- ・体験学習(勾玉づくり、土器づくり、土笛づくりなど)
- ・弥生の米づくり体験講座(田植え、稲刈り、土器野焼き、火起こし炊飯など)
- ・夏冬春休みの体験講座(「土面づくり」「粘土で干支づくり」「草木染め」など)
- ・伝統産業講座(「ガラス細工など」)

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11,577	14,483	14,988	16,185	
うち市負担分(千円)	10,072	14,141	14,215	12,801	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
入館者数	人	11,243	3,143	4,397	12,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

- ・入館者数の低位での推移は、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館及びイベント等の中止による。
- ・弥生時代の展示物を通して、入館者に弥生文化への理解を深めることができた。
- ・体験学習を通じて、参加者に弥生時代の人々の暮らしなど歴史に対する興味を持つ「きっかけづくり」ができた。
- ・各種の体験講座を通じて、参加者に池上曾根遺跡を中心とした市の歴史を伝えることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ化による行動変容等に対応するため、SNSを活用した館のPRや、体験メニューのアウトリーチ活動(出前講座)に努めるなど、館からの発信に注力した。 ・館のボランティアスタッフに、体験学習講習会を実施し指導力のアップを図った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ①開館から20年余が経過し所々に老朽化による傷みが生じている。館の長寿命化のためには大規模な改修が必要である。 ②開設以来、常設の展示物等にほとんど変化がなく、来館者(特にリピーター)を惹き寄せる力が薄れている。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市の歴史遺産を後世に伝えることは行政の責務であり、継続していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	①②令和2年度に、弥生学習館も含めた池上曾根遺跡の持続的な保存活用方法等の指針となる「史跡池上曾根遺跡保存活用計画」を策定し、令和3年度に史跡池上曾根遺跡再整備計画を策定した。今後、計画に基づき館の再整備を進めていく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	史料調査保存事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津のあゆみを後世に伝えるため、古文書等史料を収集・調査・整理し、文化財資料として保存する。
(事業概要等)
古文書の撮影、翻刻、調査リストの作成・保存・修理

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,867	2,134	2,029	2,365	
うち市負担分(千円)	1,866	2,133	2,029	2,365	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
古文書整理点数	件	約5,000	約5,000	約5,000	約5,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
古文書調査の結果を研究紀要や調査報告書へ掲載した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書専門職後継者の確保 ・整理した史料を保存公開システムの整備を検討する必要がある。 ・継続的な調査・研究・成果報告をできる人材の確保
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 古文書調査及び整理は市の責務として行うものであり、専門職により継続的かつ地道な作業が不可欠である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用
事業名	織編館運営事業・織編館維持管理事業	担当課名	生涯学習課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

暮らしに文化・芸術・スポーツが息づくまちをめざし、近代泉大津の歴史・文化・経済の基礎となる織維関連資料及び民俗資料等の収集・保存を推進し、調査・研究体制の充実をはかるとともに、博物館活動を充実させることを目的とする。

(事業概要等)

- ・本市の文化財・織維産業の歴史について調査・研究・展示を行い、それについて市民に学ぶ機会を提供する。
- ・毛布の縁で作製した布ぞりである「モフ草履」を使って、泉大津が毛布とともに歩んできた歴史を広く情報発信する。
- ・またこの事業を実施するにあたり、モフ草履を作製することができる市民を「モフ草履アンバサダー」として認定し、アンバサダーを講師として織編館が運営するモフ草履講座を開催する。
- ・地域包括連携を締結している桃山学院大学と共に、大学連携事業を実施する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	12,340	12,843	11,515	26,143	
うち市負担分(千円)	11,573	12,744	11,227	12,196	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
常設展示入場者	人	6,225	2,229	—	—
企画展示入場者	人	2,309	1,143	—	—
ギャラリー入場者	人	4,842	1,697	—	—
体験学習等受講者	人	576	5	160	300

(指標を設定できない理由)

常設展示入場者、企画展示入場者、ギャラリー入場者については、それぞれ新図書館(シープラ)へ機能移転したことにより、特定の入場者を把握することが困難となったため。

(成果の概要)

令和3年度も少なからずコロナ禍の影響を受け、イベントや講座等をやむなく延期・中止するケースもあったが、こうした状況の中、新図書館(シープラ)との連携により、本市の文化財や織維産業の歴史等について、一定の発信をすることができた。具体には、「はじまりウォール」においては、本市図書館のルーツとも言える初代図書館長「近藤朴斎」にまつわる展示を行うなど、新図書館(シープラ)の周知、PRを行うことができた。また「おりあみゆー」においては、本市の歴史や産業等について、数回の展示替えを含めた常設展示を行ったが、9月には旭小学校3年生(約100名)を対象に、本市の特産物である毛布の歴史やその製作に関わる手織機等について学芸員が詳しく説明することにより、将来を担う子どもたちに知識の習得や意識の醸成を図ることもできた。「体験学習」においては、従来の毎月実施しているマフラー、ショールなどの手織体験に加え、真田紐のキーホルダーの手織体験を拡充実施するなど、様々なアプローチにより、本市の地場産業、織維産業のPRに寄与することができた。また、「モフ草履講座」においても、実施場所を新図書館(シープラ)に移したことにより、安定した参加申込があり、その体験によるPR効果と共に、多くの方へも周知することができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	本市の織維産業等の更なる普及・啓発を目的に、令和3年度から高機による体験講座を拡充し、短時間でも手織体験ができるよう改善した。(毎週月・金開催、要予約、体験時間1時間程度)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ禍が続く中、本館が実施あるいは関わっている講座や体験学習については、その実施協力者や参加者が比較的高齢者が多いことから、引き続き、徹底したコロナ感染予防対策とともに、できる限り密状態にならないよう注意が必要となる。また、こうした状況の中、できる限り多くのイベント参加や講座実施に努めているが、現状の職員配置ではこれ以上の事業増加は難しく、さらなる創意工夫が必要となる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、コロナ禍における様々な対応策を実施しつつも、今後の方向性としてはこれまでと変わりなく、歴史的資料の収集・保存や活用は、本市の歴史や文化を後世に伝えるためには不可欠であり、また市の責務でもあるため、現行どおり実施していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	文化財発掘調査事業	担当課名	生涯学習課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
開発等により破壊される危険性のある埋蔵文化財の調査等を行うことで、埋蔵文化財の記録保存を進める。
(事業概要等)
埋蔵文化財の発掘調査を推進し、調査報告書を発行する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,900	1,921	2,708	2,031	
うち市負担分(千円)	989	961	1,452	1,016	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
民間業者の開発等により発生する緊急調査を数値化することは困難である。					
(成果の概要)					
埋蔵文化財に関する新知見を得て、報告書を発行した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	年度により発掘件数が大きく変わる可能性があるため、予算見積りが難しい。
---------	-------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 文化財保護法にもとづき、市内の埋蔵文化財を保護、継承していくために継続して実施する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	文化財保存事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

総合的な地域の文化財の保護や活用をはかる。

(事業概要等)

文化財の指定、および有形・無形文化財の保存や公開をすすめる。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,153	2,411	6,174	4,665	
うち市負担分(千円)	2,153	2,411	6,174	4,665	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
池上曾根弥生学習館のべ入館者数	人	11,243	3,143	4,397	12,000
織編館のべ入館者数	人	13,952	5,074	-	-

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

コロナ禍で行なわれたなかでの事業ではあったが、地域の文化財を市民に伝えるための企画展・講座などを実施し、多くの市民が来館した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	継続的な調査・研究・成果報告をできる人材の確保
---------	-------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 泉大津の歴史・文化は泉大津のアイデンティティそのものであり、後世に受け継ぐべきものであるため、継続して実施する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動への支援

事業名	スポーツ施設管理運営事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	--------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内9つのスポーツ施設を活用した健康・体力づくり及び市民の運動・スポーツ施設ならびにレクリエーションの普及振興と市民生活の向上を目的とする。
(事業概要等)
市内9つのスポーツ施設の包括的管理運営を行うにあたり、指定管理者制度を活用した管理運営事業を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	—	63,923	50,585	52,889	
うち市負担分(千円)		50,434	50,585	52,889	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
スポーツ施設利用人数(貸館)	人	150,260	123,097	121,635	125,000
スポーツ施設利用人数(個人利用)	人	17,266	16,928	16,834	17,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
利用人数が管理運営事業に伴う成果として考えられるが、コロナ禍のため、利用人数の減がみられる。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングルームについて、事前の講習無しで利用可能にする等、利用者の利便性を考えた改善を行っている。 ・今後のスポーツ施設利用促進に繋がるよう、R2年度の事業報告を、スポーツ施設運営委員会で評価を行い、指定管理者に事業の改善点等を示した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	新型コロナウイルス感染症の影響による、利用人数の減はあるが、今後のウィズコロナ対策など、運動する機会が少なくなった利用者への周知など利用促進に繋がる取り組みが必要と考える。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 指定管理者制度を活用した管理運営事業により、市民サービスの向上が図られているため。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動への支援

事業名	スポーツ施設指定管理者支援事業	担当課名	スポーツ青少年課
-----	-----------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市スポーツ施設指定管理者による利用者への安定的かつ継続的なサービスの提供を目的とする。

(事業概要等)

新型コロナウイルスを理由とするキャンセル料免除金額やスポーツ教室中止費用の補填。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	—	2,863	3,361	7,445	
うち市負担分(千円)		0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
新型コロナウイルスによる休館日(体育館)	日		35	57	

(指標を設定できない理由)

新型コロナウイルスの影響によるスポーツ教室の中止等は、緊急事態宣言等によるものであり、市の方でコントロールできないため。

(成果の概要)

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市スポーツ施設指定管理者による利用者への安定的かつ継続的なサービスの提供のためには、本事業は必要なものであるから。
	改革・改善 策等の具 体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動への支援

事業名	団体等育成支援事業(スポーツ)	担当課名	スポーツ青少年課
-----	-----------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津市における運動・スポーツ振興のため、スポーツ関係者や団体の育成・支援を図る。

(事業概要等)

補助金の交付

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,760	1,039	1,488	4,435	
うち市負担分(千円)	1,760	1,039	1,024	1,760	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
大阪府総合体育大会総合成績	位	22	—	—	21

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

R2、3年度の大阪府総合体育大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、大会参加により日常的に体を動かす機会が増え、体力向上と運動・スポーツ振興に寄与できる。また、総合型地域スポーツクラブの事業を支援することにより、市内のスポーツ環境の育成に寄与できる。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	R3年度より、日本スポーツ振興センターによる総合型地域スポーツクラブ支援事業助成金の申請主体が市町村に変更になったことに伴い、泉大津市総合型地域スポーツクラブ支援事業費補助金交付要綱を制定し、支援体制を整えた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体構成員の固定化と高齢化 ・総合型地域スポーツクラブについて、自主運営を可能とする体制づくり
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 体力向上および健康増進のためのスポーツ推進事業を実施するにあたり、スポーツ協会・スポーツ推進協議会・総合型地域スポーツクラブは、協働の観点からも欠かすことができない。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動の支援

事業名	文化活動振興事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市民の文化芸術活動を振興するため、成果発表の機会を設けるとともに、多くの市民が文化に触れる機会を作る。

(事業概要等)

市民が広く文化芸術に触れる機会を提供するため、文化活動を行う団体により市民音楽祭を実施する。また、市内で活動する多様な文化団体によるステージ発表や市展・学童展などの展覧会を開催する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	814	58	8,922	8,422	
うち市負担分(千円)	814	58	8,922	8,422	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
市民音楽祭出演団体数	団体	21	0	0	25
市展出品数	点	149	0	98	150
文化祭参加団体数	団体	34	0	10	50

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

新型コロナウイルスの影響により、市民音楽祭など中止となる事業があったが、市展、ごかんのおまつりについては開催できた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新型コロナウイルスの影響を考え、シルバー展、市展、ごかんのおまつりの時期をずらし、あすとホールでの開催に変更した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	既存の事業については、参加者の固定化、高齢化が顕著になってきているため、若い世代が参加しやすい仕組みをつくるなどの見直しが必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 各世代の文化芸術活動を推進するため、継続的な実施が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2・3	文化・芸術・スポーツ活動への支援 各分野との交流・連携の充実
事業名	体育振興事業		担当課名	スポーツ青少年課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	市民の運動・スポーツ及びレクリエーションの普及振興と健康・体力づくりによる市民生活の向上を図る
(事業概要等)	各種スポーツ教室の開催やスポーツ振興を図るためのイベント等を開催する

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,190	1,702	10,486	9,884	
うち市負担分(千円)	5,759	1,213	3,503	9,884	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
スポーツ教室受講者数	人	8,851	5,445	7,480	13,000
スポーツ競技大会出場奨励金(個人・団体)	件	—	6	23	25
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
<p>コロナウイルス感染拡大防止のために、大阪府内に緊急事態宣言発令中またはまん延防止等重点措置期間中は休館・休講及び時短営業を行っていたため、目標値(12,800人)には届かなかったが、スポーツ教室に関するニーズを把握し、幅広い年齢層の市民に対し、健康・体力づくりを図ることができた。</p> <p>また、令和2年度から、本市のスポーツ活動等の振興及び活性化を図ることを目的としたスポーツに関する全国的規模又は国際的規模の大会に出場する個人又は団体に対し、泉大津市スポーツ競技大会出場奨励金を交付した。</p>					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	R4年度からのスポーツ施設予約システムリニューアルに向けて、学校体育施設も含めた形でオンライン申請を可能にし非対面・非接触で利用できる形を整えた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で様々な取組をしてくれるスポーツ指導者の育成 ・市内スポーツ施設の稼働率の向上
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 市民の健康づくりを図るために必要な事業であるが、保有するスポーツ施設をより有効活用するために、利用方法を検討する必要がある。また、スポーツ指導者の確保と人材育成に取組む必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者人材バンク制度を運用し、スポーツ指導者の人材確保に努める。 ・スポーツ施設予約システムについて、利用者の声を反映し、よりよいシステムになるように改善を図る。 	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2・3	文化・芸術・スポーツ活動への支援 各分野との交流・連携の充実
事業名	地域運動部活動推進事業		担当課名	スポーツ青少年課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現を目的とする。

(事業概要等)

合同部活動の推進に関する実践研究を実施し、研究成果を普及することで、合理的で効率的な部活動の展開を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			1,135	2,106	
うち市負担分(千円)			1,135	1,053	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
地域の合同部活動数				1	2
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
<p>市内3中学校の生徒を対象とした「合同ゆる部活動」を、令和3年12月～令和4年2月にかけて、全15回実施し、のべ26名の参加があった。</p> <p>また、地域運動部活動に関する検討会を3回実施し、今後の在り方を検討することができた。</p> <p>市内の6年生、市内3中学校の全生徒及び教職員と管理職にアンケートを行い、部活動に関する意識調査を行うことができ今後のあり方を検討する参考になった。</p>					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度に既存部活動の合同部活動を実施するにあたり、学校部活動の所管課である指導課との連携がより必要となる。 ・事業の内容を生徒と教員及び地域スポーツ団体への周知を徹底し、地域移行への理解を深めていくことが必要となる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	<p>(左記評価の理由)</p> <p>スポーツ庁が令和7年度を目途に改革を推奨している、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現のためには、地域での部活動を段階的に移行する必要がある。</p>
改革・改善策等の具体的内容		